

最初にご覧ください

目次

ISM 研究会ホームページの使い方

1. ISM 研究会ホームページの構成.....	1
1.1 レイヤー	1
1.2 サイトマップ	3
1.3 キーボードショートカット	5
2. ISM 研究会ホームページのグループ.....	6
2.1 新着情報・更新履歴.....	6
2.2 リンク	6
2.3 会員情報	6
2.4 例会	6
2.5 公開文書	6
2.6 ISM メーリングリスト	6
2.7 ISM DataBase Application	6
3. メニュー付き Web ページのルック・アンド・フィール	7
3.1 総論	7
3.2 共通な構成要素	7

パスワードについて

1. パスワード（総論）	9
2. パスワード保護の対象	9
2.1 個人情報が含まれているファイル.....	9
2.2 公開を予定していないファイル.....	9
2.3 会員から保護要請があったファイル.....	9
3. ご注意ください	9
3.1 会員の皆さんへ	9
3.2 共用の端末をお使いの会員へ.....	10
4. 最後に	11

ファイルのダウンロードについて

1. ダウンロード（総論）	12
1.1 ダウンロードって?.....	12
1.2 拡張子	12
1.3 ダウンロードの仕方.....	13
2. 著作権	15
3. Html ファイル	15
3.1 Html ファイルって?	15
3.2 Html ファイルの保存の仕方	16
4. 画像ファイル	18
4.1 画像ファイルの著作権.....	18
4.2 画像ファイルの保存の仕方.....	19
5. テキストファイル	19

6. Lha	20
6.1 Lha ファイルとは?	20
6.2 Lha ファイルを利用するには?	21
7. PDF	21
7.1 PDF ファイルとは?	21
7.2 PDF ファイルを閲覧するには?	21
8. ダウンロードテクニック	22
8.1 ローカルディスクにダウンロード	22
8.2 ダウンロードする時間帯	24

トラブルシューティング

文字が化けてしまってページが読めない!	25
原因	25
対策	25
特定の文字が判別不能になってしまっている	27
原因	27
対策	27
文字が小さくてページが読みにくい!	28
原因	28
対策	28
画像が多くてうざってーんだよ!	29
原因	29
対策	30
ダウンロードの途中で回線が切れてしまった!	31
原因	31
対策	31
ISM 研究会のホームページのアドレスを忘れてしまう	32
原因	32
対策	32

PDF 版への付録

1. 一覧表	35
1.1 キーボード操作のまとめ	35
1.2 拡張子の纏め	36
2. 用語集	36

ISM 研究会ホームページの使い方

1. ISM 研究会ホームページの構成

1.1 レイヤー

ISM 研究会ホームページ (ISM HP) は、コンセプト上、(i) メインページ、(ii) グループ、(iii) その他のユーザ向けファイルという構成 (3 階層構成) になっています。

1.1.1 メインページ

メインページは各グループ (後述) 間を移動するためのメニューの役割を担っています。メインページには、どのメニュー付き Web ページ (後述) から戻ってこれます。基本的には、グループ間の移動がしたい時には、一度、メインページに戻らなければなりません¹⁾ (下図)。



1) Web ページ内に説明・参照のためのリンクが特別に貼られている場合、またアドレスをユーザが直接に指定する場合を除きます。以下、この項目では、「基本的に」という限定は同じ限定を意味します。

画面に、“新着・更新情報”とか“最初にご覧ください”とか書いてある部分が見えます。これがメニューです。マウスのカーソルをこのご自身が見たいコンテンツを表すメニューの上にもって行ってクリックするか、あるいは [Tab] キーを何度か押して当該メニューを選択して [Enter] キーあるいは [Return] キーを押すと、そのコンテンツを含むページを閲覧することができます。[Tab] キーを押すすぎて、当該メニューが選択することができなくなった場合には、そのまま何度も [Tab] キーを押していれば、一回転して、元の場所に戻ってきます。あるいは、[Shift] キーと [Tab] キーとを同時に押せば、逆方向にジャンプすることができます。なお、この説明が解りにくいようでしたら、「ファイルのダウンロードについて」の「1.3 ダウンロードの仕方」をご覧くださいの上、もう一度ここを読み直してください。

1.1.2 グループ

グループは、同じカテゴリに属するいくつかの Web ページの集まりです。換言すると、一つのグループにはいくつかの**メニュー付きの Web ページ**が属しています。Web ページとは、みなさんがブラウザで見ることができ、テキスト・画像などを含んでおり、いろいろなリンクが貼ってあるページのことです。要するに、通常、“ホームページ”と呼ばれているもののことです。ここでは、メニュー付きの Web ページとは、メニューボタン（「3.2.1 メニューボタン」をご覧ください）があるページのことです。

また、各グループにはトップページがあります。メインページからグループを指定すると、そのグループのトップページに移動します。

基本的に、グループ間でのグループの移動はメインページを通じて行われます。つまり、あるグループに属するメニュー付きのページから、別のグループに属するメニュー付きのページに移動したい時には、基本的には、一旦、メインページに戻らなければなりません。ただし、“更新情報”グループ、“最初にご覧ください”グループおよび“お帰りはこちらから”グループにはどのメニュー付きの Web ページからも直接に——つまりメインページに戻ることなく——移動することができます。

これに対して、グループ内での Web ページの移動は直接に——つまりメインページに戻ることなく——できます。基本的には、トップページ以外のメニュー付きの Web ページには、ただ同じグループに属する他のメニュー付きの Web ページからのみ、移動することができます。つまり、基本的には、トップページ以外のメニュー付きの Web ページには、メインページから直接に移動することはできません。

具体的にどのようなグループがあるのかについては、「2. ISM 研究会ホームページのグループ」をご覧ください。また、各メニュー付き Web ページがどのようなインターフェース、デザインをもっているのかについては、「3. メニュー付き Web ページのルック・アンド・フィール」をご覧ください。

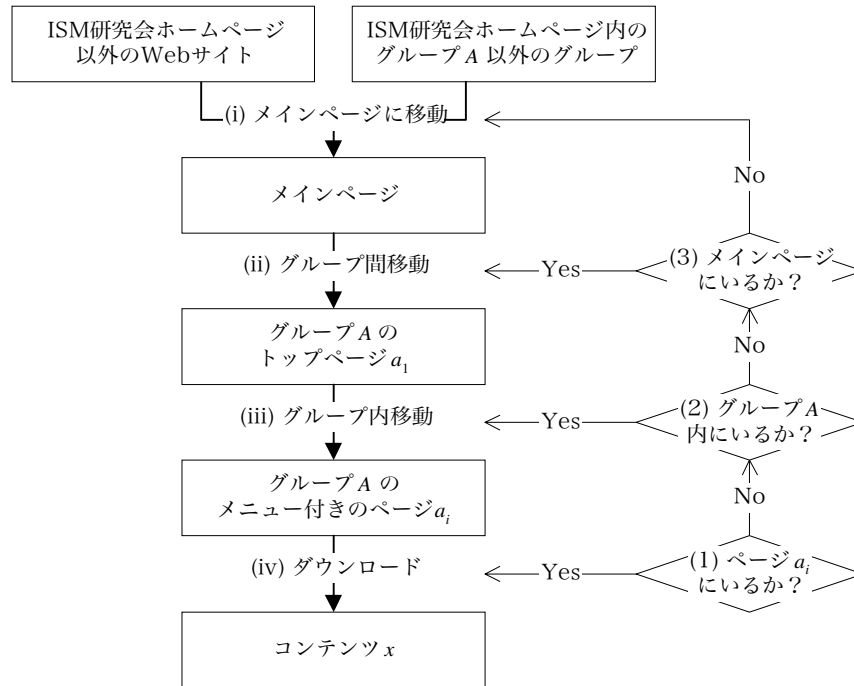
1.1.3 その他の、ユーザ向けファイル

ISM 研究会ホームページには、その他のコンテンツ（ユーザにとって意味のあるもの）が含まれています。これらのコンテンツにはいろいろなものがあります。これらのコンテンツは、グループに属するメニュー付きの Web ページから入手することができます。つまり、このメニュー付きの Web ページには、当該コンテンツへのリンクが貼られているわけです（リンクについては「ファイルのダウンロードについて」の「1.3 ダウンロードの仕方」をご覧ください）。

これらのコンテンツを入手するには、それにアクセスすることができるメニュー付きの Web ページに移動しなければなりません。いま仮に、グループ A のメニュー付きのページ a_i から入手することができるコンテンツ x が欲しいと仮定しましょう。この場合には、基本的には次のような手順が必要

1) 「メニュー付きの Web ページ」は、ISM HP の固有の用語であって、一般的に通用するものではありません。

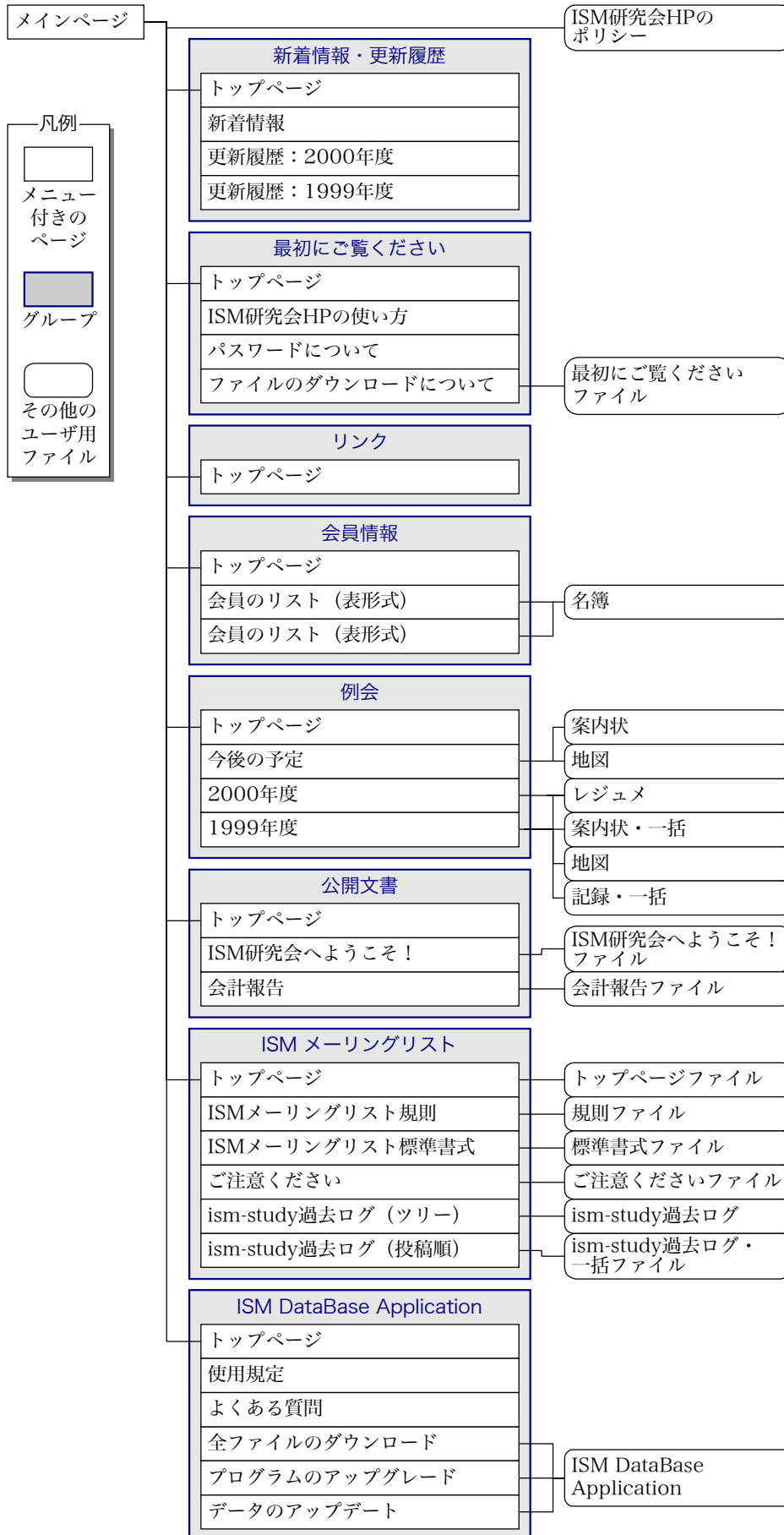
です。—— (i) メインページに移動します。(ii) メインページのメニューからグループ A を選択すると、メインページからグループ A のトップページ a_1 に移動します (グループ間移動)。(iii) グループ A のトップページのメインメニューからメニュー付きのページ a_i を選択すると、グループ A のトップページ a_1 からグループ A のメニュー付きのページ a_i に移動します (グループ内移動)。(iv) メニュー付きのページ a_i からコンテンツ x を入手します (具体的には「ファイルのダウンロードについて」の「1.3 ダウンロードの仕方」をご覧ください)。もちろん、いま既にメインページにいる場合には手順 (ii) からスタートし、いま既にグループ A にいる場合には手順 (iii) からスタートし、いま既にメニュー付きのページ a_i にいる場合には手順 (iv) だけで済むわけです (下図)。



1.2 サイトマップ

具体的には、ISM 研究会ホームページの構成は下図のようになっています¹⁾。

1) 「Html」、「Lha」、「PDF」などの用語については、「ファイルのダウンロードについて」において詳しく説明します。



1.3 キーボードショートカット

Windows ユーザの方の中で、ブラウザとして *Internet Explorer* をお使いの方へ。上記の各ページ上で、以下のようなキーボードオペレーションが可能です。

- [Alt] キー（あるいは [Graph] キー）と [M] キーとを同時に押すと、そのページの“Main”メニューボタン（後述）を選択することができます。“Main”メニューボタンが選択された状態で [Enter] キーを押すと、“メインページ”に移動することができます。
- [Alt] キー（あるいは [Graph] キー）と [W] キーとを同時に押すと、そのページの“What's New?”メニューボタン（後述）を選択することができます。“What's New?”メニューボタンが選択された状態で [Enter] キーを押すと、“新着情報・更新履歴”グループのトップページに移動することができます。
- [Alt] キー（あるいは [Graph] キー）と [R] キーとを同時に押すと、そのページの“Read This, Please!”メニューボタン（後述）を選択することができます。“Read This, Please!”メニューボタンが選択された状態で [Enter] キーを押すと、“最初にご覧ください”グループのトップページに移動することができます。
- [Alt] キー（あるいは [Graph] キー）と [T] キーとを同時に押すと、そのページの“Top”メニューボタン（後述）を選択することができます。“Top”メニューボタンが選択された状態で [Enter] キーを押すと、そのグループのトップページに移動することができます。
- [Alt] キー（あるいは [Graph] キー）と [P] キーとを同時に押すと、そのページの“←”（左向き矢印）メニューボタン（後述）を選択することができます。“←”（左向き矢印）メニューボタンが選択された状態で [Enter] キーを押すと、そのグループの前のページに移動することができます。
- [Alt] キー（あるいは [Graph] キー）と [U] キーとを同時に押すと、そのページの“↑”（上向き矢印）メニューボタン（後述）を選択することができます。“↑”（上向き矢印）メニューボタンが選択された状態で [Enter] キーを押すと、そのページの一番上に移動することができます。
- [Alt] キー（あるいは [Graph] キー）と [N] キーとを同時に押すと、そのページの“→”（右向き矢印）メニューボタン（後述）を選択することができます。“→”（右向き矢印）メニューボタンが選択された状態で [Enter] キーを押すと、そのグループの次のページに移動することができます。

キー	リンク先	略称の覚え方
[M]	ISM 研究会ホームページのメインページ	M ain page
[R]	“最初にご覧ください”グループ	R ead this, please!
[W]	新着情報・更新履歴グループ	W hat's new?
[T]	トップページ	T op page
[P]	前のページ	P revious page
[U]	このページの一番上	U p to the top of the page
[N]	次のページ	N ext page

2. ISM 研究会ホームページのグループ

2.1 新着情報・更新履歴

ISM 研究会ホームページには、新しい情報が付け加わったり、また既存の情報が変更されたりします。このグループにアクセスすると、どのような情報が追加・変更されたのかわかります。

リピータの方は、このグループにアクセスしてください。あなたが最後にこのホームページにいらした後で、コンテンツがどのように変更されたのか、わかります。

2.2 リンク

このグループにアクセスすると、ISM 研究会ホームページから、他のホームページに移動することができます。

2.3 会員情報

このグループにアクセスすると、会員の個人情報（連絡先など）を知ることができます。また、会員の個人情報を様々な形式で入手することができます。このグループからは会員名簿を入手することができます。

会員の個人情報は守られなければなりません。このグループの中で、会員の個人情報にアクセスすることができるページには、パスワードロック（後述）がかけられています。

2.4 例会

このグループにアクセスすると、例会のこれまでの記録とこれからのスケジュールを知ることができます。このグループからは会場地図、例会案内状、例会記録、レジユメを入手することができます。

2.5 公開文書

このグループにアクセスすると、ISM 研究会から皆さんに配付された諸資料を知ることができます。今のところ、そのような資料には、ISM 研究会の紹介ビラ、会計報告が含まれています。

2.6 ISM メーリングリスト

ISM 研究会は“ISM メーリングリスト”という、一種の電子会議室を主催しています。このグループにアクセスすると、ISM メーリングリストについての諸情報を知ることができます。このグループからは ISM メーリングリストの過去ログ（これまでの投稿）を入手することができます。

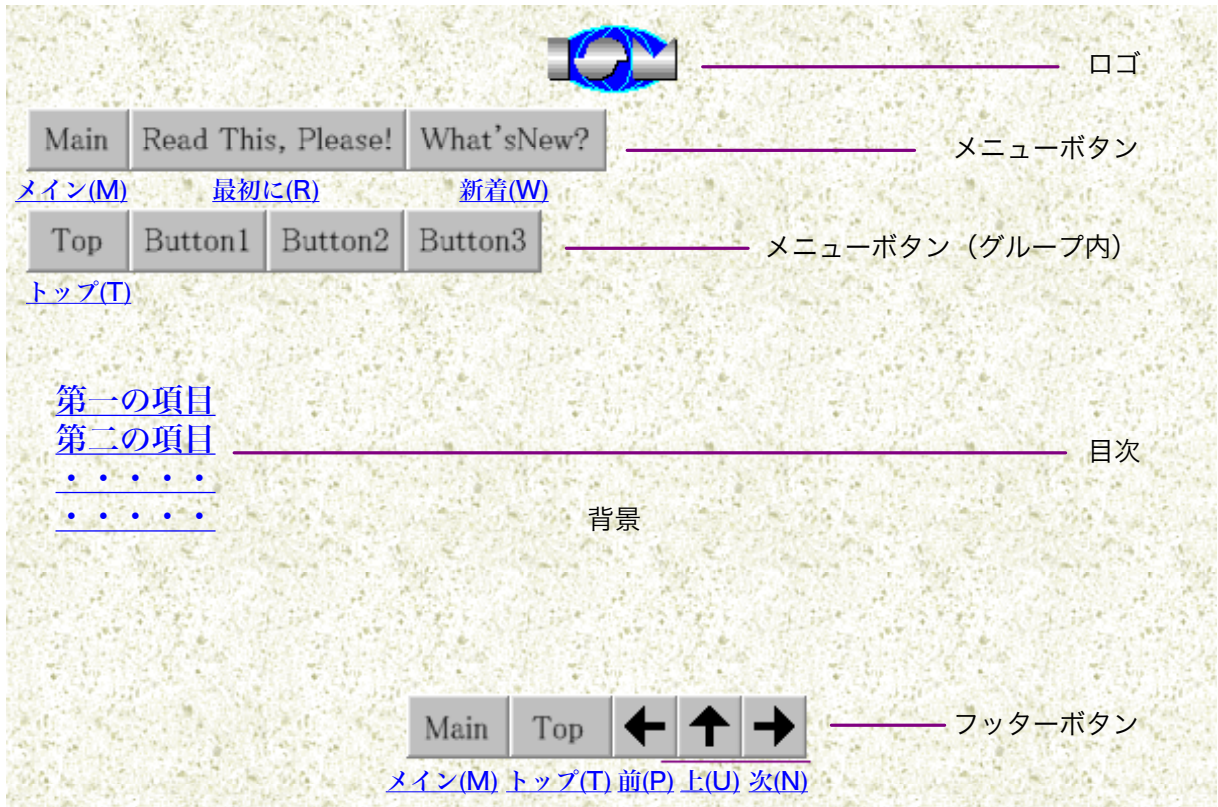
2.7 ISM DataBase Application

ISM 研究会は“ISM DataBase Application”という、Windows 95/98/NT 上で稼働するデータベースプログラムを製作・配布しています。このグループにアクセスすると、ISM DataBase Application についての諸情報を知ることができます。このグループからは ISM DataBase Application を入手することができます。

3. メニュー付き Web ページのルック・アンド・フィール

3.1 総論

ISM 研究会のメニュー付き Web ページは共通のインターフェースを維持しています（下図）。



メニューボタン、背景、フッターボタン¹⁾は同じグループに属する Web ページの間では、全く同じルックアンドフィール（見た目）を維持しています。つまり、メニューボタン、背景、フッターボタンのデザインはグループ内では統一されています。逆に言うと、メニューボタン、背景、フッターボタンのデザインはグループ間では異なります。

3.2 共通な構成要素

3.2.1 メニューボタン

メニューボタンは他のページに移動するのに使います。メニューボタンをクリックすると新しいページに移動します。右図はメインページに移動するのに使うメニューボタンの例です。



上図の例で、ボタンの下にあるテキスト“メイン(M)”における“M”はショートカットキー（アクセスキー）を意味します。最近のブラウザでは、[Alt] キーあるいは [Graph] キーあるいは [Command] キーと同時に [M] を押すと、メインページに移動するか、あるいはこのボタンを選択するかすることができます。

1) 「メニューボタン」、「フッターボタン」はいずれも ISM HP の固有の用語であって、一般的に通用するものではありません。

メニューボタンの上にマウスのポインタを合わせると説明が表示されます。なお、Internet Explorer の ver. 5.0 以上の場合には、メニューボタンの上にマウスのポインタを合わせると短い説明（ボタンの説明）が、その下にあるテキストの上（上図の例では“メイン(M)”と書かれている部分）にマウスのポインタを合わせると詳しい説明（リンク先の説明）が表示されるはずですが。

通常、メニューボタンは二行に分かれています。第一行目は“メインページ”，“更新情報”，“最初にご覧ください”に移動するためのボタンであり、どの階層のどのページについても共通です。第二行目は同じグループの内部でページを移動するためのボタンです。

3.2.2 目次

目次があるページの場合には、目次をクリックすると、そのページの内部で特定の場所に移動することができます。例としては右図をご覧ください。

[このページについて](#)

Internet Explorer の ver.5.5 以上などでは、このテキストの上にマウスのポインタをもってくると、説明文が出るはずですが。

3.2.3 フッターボタン

フッターボタンには、ISM 研究会ホームページのメインページに移動するためのボタン (Main)、そのグループのトップページに移動するためのボタン (Top)、同じグループに属する一つ前の Web ページに進むためのボタン (左向きの矢印)、そのページの一番上に移動するためのボタン (上向きの矢印)、同じグループに属する一つ後の Web ページに進むためのボタン (右向きの矢印) などがあります。右図はそのページの一番上に移動するためのフッターボタンの例です。



上図の例で、ボタンの下にあるテキスト“上(U)”における“U”はショートカットキー（アクセスキー）を意味します。最近のブラウザでは、[Alt] キーあるいは [Graph] キーあるいは [Command] キーと同時に [U] を押すと、そのページの一番上に移動するか、あるいはこのボタンを選択するかすることができます。

メニューボタンの上にマウスのポインタを合わせると説明が表示されます。なお、Internet Explorer の ver. 5.0 以上の場合には、メニューボタンの上にマウスのポインタを合わせると短い説明（ボタンの説明）が、その下にあるテキストの上（上図の例では“上(U)”と書かれている部分）にマウスのポインタを合わせると詳しい説明（リンク先の説明）が表示されるはずですが。

パスワードについて

1. パスワード（総論）

- ISM 研究会ホームページの特定の Web ページを開いたり、特定のファイルをダウンロードしたりする時に、パスワード入力を求められることがあります。
- これは、そのページが会員専用のページであり、そのファイルが会員専用のファイルであるということの意味しています。
- 会員の皆さんには、予めお知らせしてあるユーザー名とパスワードを入力するようにしてください。

2. パスワード保護の対象

2.1 個人情報が含まれているファイル

このホームページのコンテンツ（ユーザにとって意味がある内容）には ISM 研究会の会員の個人情報も含まれています。ホームページにこのような情報が含まれていると、外部の人間がその情報をダイレクトメール、電話販売などに——あるいはもっと卑劣な目的に——利用するということがよく知られています。個人情報の中でも、特に、ISM 研究会の会員の住所・電話番号・e-mail address が含まれているのは重大です。

そこで、ISM 研究会ホームページは、個人情報の流出を防ぐために、会員の個人情報が含まれているページにはパスワードを入力するように求めています（現在のところ、“会員のリスト（表形式）” ページ、“会員のリスト（カード形式）” ページがこれに該当します）。

2.2 公開を予定していないファイル

管理人の側が“このファイルは会員以外からアクセスされてはならないファイルだ”と判断した場合にも、当該ファイルをパスワードでロックします。

2.3 会員から保護要請があったファイル

その他にも、会員から“このファイルを会員以外に公開するのは止めてくれ”という要請があれば、管理人は直ちに当該ファイルをパスワードでロックします。会員の方は遠慮なく、お申し付けください。

3. ご注意ください

3.1 会員の皆さんへ

- パスワード保護は“絶対に安全なもの”ではありません。もし会員の方の中で、“このデータは——パスワードで保護されていようとも——インターネット上のディスクにアップしてもらいたくない”とお考えの方がいらっしゃるならば、遠慮なくその旨、管理人にお申し付けください。

- パスワードが書かれた紙を、パソコンのモニターとか机の上とかカレンダーとか、そういう人目に付くところに貼り付けるのはお止めください。パスワードの意味ないです。
- ご自身専用の端末からアクセスしていらっしゃる方は、パスワードをディスクに保存しておく、次回からはユーザー名とパスワードを入力することなく、アクセス制限されたページにアクセスすることができます。



- 但し、共用の端末をお使いの方は、絶対に、パスワードをディスクに保存しないようにしてください。

3.2 共用の端末をお使いの会員へ

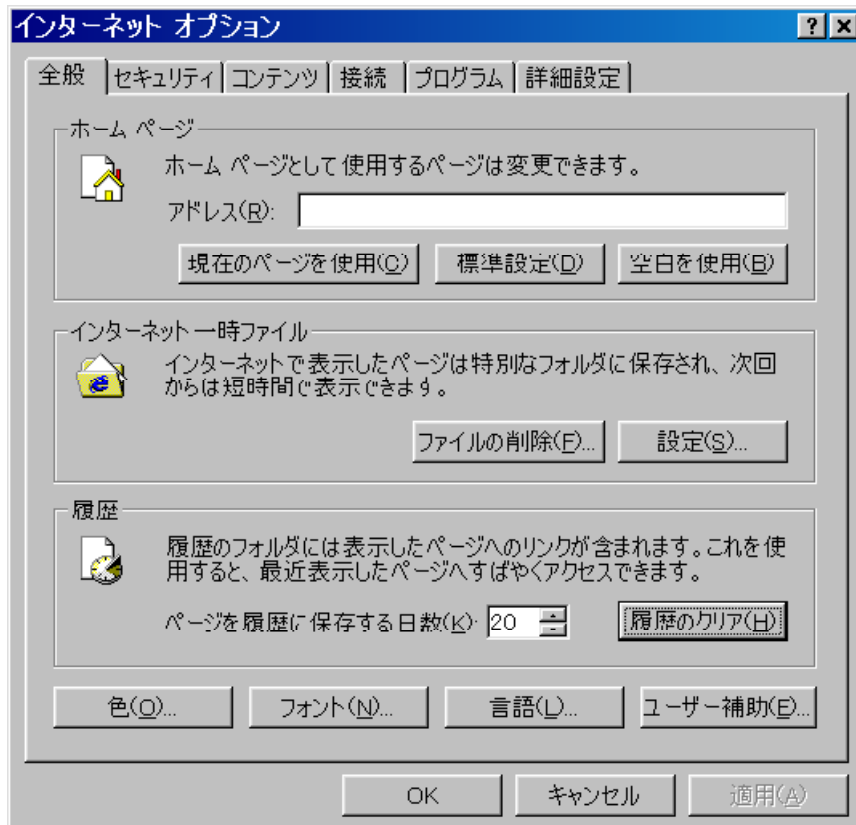
この項目は、大学（研究室・図書館）・企業・インターネットカフェなどで共用の——つまりあなた以外にも使う——端末をお使いの方のためのものです。ご自宅・研究室などであなた専用のコンピュータをお使いの方は、この項目を読み飛ばしてください。

- 繰り返しになりますが、絶対に、パスワードをディスクに保存しないようにしてください。
 - パスワード入力ダイアログボックスで、“このパスワードを保存する(S)” チェックボックスにチェックを入れないでください。
- パスワードのデータが入ったファイルを共用のフォルダ／ディレクトリに保存しないでください。
- 共用の端末をお使いの方の中で、**Internet Explorer** をブラウザとして使っている方は、席を離れる前に、ブラウザ（Internet Explorer）の**全ての**ウィンドウを終了する（そのウィンドウが表示しているのが ISM HP に含まれているページ・ファイルであろうとなかろうと）ようにしてください。要するに、タイトルバーに“Internet Explorer”と書かれているウィンドウを全部終了してください（閉じてください）。
 - Internet Explorer は、ひとたび起動してパスワードを入力すると、ディスク上にパスワードを保存しなくても、終了するまでは、パスワードを記憶し続けています。
 - あなたがどのサイトにアクセスしたのかということは、ローカルディスクの記憶領域（通常はハードディスク）に残っています。この記録のことを“履歴”（history）と呼びます。
 - 従って、共用コンピュータをお使いの方の中で、Internet Explorer をブラウザとして使っている方が、パスワードでロックされたページを開いた後で、Internet Explorer の全ての

1) これは Windows 95/98 の場合です。他のシステムをお使いの方は、ひょっとすると、他の（但し同じ趣旨の）メッセージが他のコントロールとともに表示されているかもしれません。

ウィンドウを終了せずに（閉じずに）席を離れると、周りの人が、パスワードでロックされたそのページにアクセスすることができてしまうのです。

- もしなんらかの理由で、Internet Explorer の総てのウィンドウを終了する（閉じる）ことができないのであれば、履歴を消すようにしてください。
1. メニューバー上で“ツール(T)” / “インターネット オプション(O)...” を選択します。すると、タイトルバーに“インターネット オプション”と表示されたダイアログボックスが開きます。
 2. “全般” ページが表示されていないようでしたら、このダイアログボックス上で、“全般” ページタブをクリックします。すると、以下のようなページが表示されます。



3. このページ上で、“履歴” 項の“履歴のクリア(H)” ボタンをクリックします。

4. 最後に

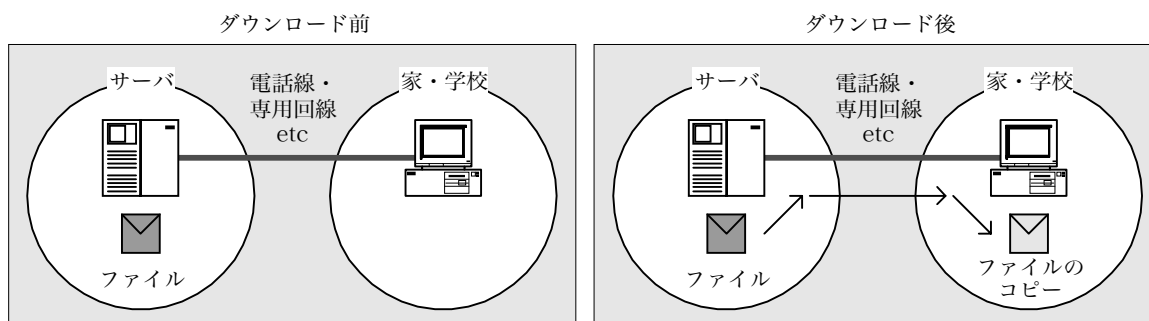
管理人といたしましては、パスワードロックをかけているのは、あくまでも外部からの侵入者をチェックするためであって、皆さんの利便性を損なうためでは決してありません。この「パスワードについて」で述べたことは述べたこととして、お心に止めていただいた上で、あまり神経質にならずにお使いください。

ファイルのダウンロードについて

1. ダウンロード（総論）

1.1 ダウンロードって？

皆さんがいま見ているページのオリジナルは、皆さんの端末（パソコンなど）とは別のところにあります。皆さんがページを見るということは、この“別のところ”に保存されているファイルのコピーを、通信手段（電話回線など）を通じて、皆さんの端末まで運んできているということです。これをダウンロードと言います（下図）。



ダウンロードすることができるファイルには、皆さんがいまブラウザでご覧になっているページ以外にもいろいろなものがあります。こうして、皆さんはいろんな情報をいろんな形式でダウンロードすることができるわけです。

初めてこのページにいらした方は、多分、“最初にご覧ください”グループの“トップ”ページから始まって、“ISM 研究会ホームページの使い方”ページ，“パスワードについて”ページ，そしてこの“ファイルのダウンロードについて”ページへと順々に移動してきたと思います。実は、これも皆さんが Html という形式のファイル（後述）を次々とダウンロードしてきたのです。4つの Web ページの実体は4つのファイルなのです。

1.2 拡張子

ファイルのこの「いろんな形式」を識別するのが**拡張子**です。ISM HP が提供するファイルは総てファイル名（ノード名）8文字以内+拡張子3文字以内という命名規則に従っています。ISM HP が提供するファイルのファイル名の後には必ずピリオドがたった一つだけ含まれており，そのピリオドの後の3文字以内が拡張子です。例えば，いま皆さんがご覧になっているこのページの実体であるファイルは“Read_This.pdf”という名前をもっています。ここで，「pdf」が拡張子です。

このページの以下の部分では，拡張子を指し示すときには，それが拡張子であることを明示するために，ピリオド付きで表示します。例えば，このファイルの拡張子は「.pdf」になります。

Mac ユーザの方へ。ISM HP においてダウンロード可能な総てのファイルについて，Finder 情報——従ってまた Type および Creator——は含まれていません。従って，Mac をお使いの場合，アイコンが白紙になってしまうかもしれません。


もしアイコンが白紙になってしまったら，このページの以下の部分で記述してあるファイ


ルの拡張子をご覧の上、PC Exchange (OS 8.5 以降は File Exchange に統合された) 上で、DOS 拡張子とアプリケーションとの関連付けを定義してください。そうすれば、Type と Creator とがファイル (正確には Finder 情報) に追加され、従ってまたアイコンのダブルクリックで当該アプリケーションソフトが立ち上がるはずで

1.3 ダウンロードの仕方

1.3.1 リンク付きのものに注意!

欲しいファイルをダウンロードするには、ページ上にある“**リンク付きのもの**”に目をつけてください。総ての“**リンク付きのもの**”がファイルのダウンロードと関連付けられているわけではありませんが、多くの場合にファイルのダウンロードと関連付けられています(「1.3.4 リンク付きのもの」とダウンロード)をご覧ください。

“**リンク付きのもの**”とは説明しにくいのですが、マウスのポインタを“**リンク付きのもの**”の上に移動すると、マウスのポインタの形が人指し指を指した手の形、つまりに変わります(Internet Explorer および Netscape Navigator の場合)。この状態でマウスをクリックすると、欲しいファイルをダウンロードすることができます。

また、殆どのブラウザでは、PC 互換のキーボードをお使いの方は、[Tab] キーを押してみると順方向(ページの上から下)に、また [Shift] キーと [Tab] キーとを同時に押してみると逆方向(ページの下から上)に、四角形の枠、つまり  が動くと思います。四角形の枠がある/あったということは、それが“**リンク付きのもの**”であるということを意味します。四角形の枠が動いた先の——つまり今、四角形の枠がある——“**リンク付きのもの**”は選択中の状態にあります。“**リンク付きのもの**”が選択中であるときに、[Enter] キーあるいは [Return] キーを押すと、欲しいファイルをダウンロードすることができます。

ISM HP のページ上にある“**リンク付きのもの**”には“**リンクテキスト**”と“**リンクボタン**”とがあります。

1.3.2 リンクテキスト

リンクテキストはページの中の文書の一部分にリンクが付いたものです。一般的に言って、色付きで下線が引いてある文字——[こんな感じ](#)——はリンクテキストであるとお考えください。みなさんがお使いのブラウザの設定を変更していなければ、下線が引いてある黒文字・白文字はリンクテキストではありません²⁾。

あるいはまた、「1.3.1 リンク付きのものに注意!」で見たように、(i) そのテキストの上にマウスのポインタを移動するか、(ii) [Tab] キーあるいは [Shift] キー + [Tab] キーを押すかしても、ページ上にあるテキストがリンクテキストであるのかどうか、確かめることができます。

1.3.3 リンクボタン


リンクボタンは、ページの中の画像にリンクが付いたものです。ISM HP のページ上の画像には、リンクボタンとただの画像(リンク付きではない画像)とがあります。Internet Explorer および Netscape Navigator においては、メインページを除いて、リンクが貼られた画像(リンクボタン)には色付きの



-
- 1) 「**リンク付きのもの**」、「**リンクテキスト**」、「**リンクボタン**」はいずれも ISM HP の固有の用語であって、一般的に通用するものではありません。
 - 2) これは ISM HP の仕様であって、他のサイトの Web ページでは、別の仕様を採用しているところもあります。また、みなさんの各々が使っているブラウザの側で指定して、ISM HP の仕様とは別の形でリンクテキストを表示することもできます。

枠——  ——が見えるはずですが。Internet Explorer および Netscape Navigator をお使いの方は画像に色付きの枠があるのかどうか、ご注目ください。

あるいはまた、「1.3.1 リンク付きのものに注意！」で見たように、(i) その画像の上にマウスのポインタを移動するか、(ii) [Tab] キーあるいは [Shift] キー + [Tab] キーを押すか試してみても、ページ上にある画像がリンクボタンであるのかどうか、確かめることができます。

メニューボタンをクリックすると新しいページに移動することができる（これは新しいページをダウンロードするという意味を意味します）のは既にご存じですね。メニューボタンも実はリンクボタンです。既に見たように、新しいページに移動するという事は、この新しいページの実体である新しいファイルをダウンロードするという事を意味するわけです。

その他に、ファイルのダウンロードの際には、 というボタンに着目してください。多くの環境では、このボタンの中の白い部分が動いているように見えるはずですが。このボタンの上にマウスのポインタを移動すると“有”という説明が出ます。このボタンをクリックすると、それが指しているファイルをダウンロードすることができます。

なお、 というボタンではなく、 というボタンがある場合には、“そのファイルは会員にだけ公開されている”ということの意味をしています。このボタンの上にマウスのポインタを移動すると“有：要パスワード”という説明が出ます。もしまだブラウザ上でパスワードを入力しているのでないならば、そのファイルをダウンロードする時にはパスワードが要求されます。

1.3.4 リンク付きのものとのダウンロード

総ての“リンク付きのもの”のリンク先がファイルであるとは限りません。つまり、総ての“リンク付きのもの”について、それがクリックされると——あるいはそれが選択されている状態で [Enter] キーあるいは [Return] キーが押されと——、ファイルのダウンロードが始まるとは限りません。

例えば、リンク付きのものの中には、クリックされると——あるいはそれが選択されている状態で [Enter] キーあるいは [Return] キーが押されと——、メーラが立ち上がるものもあります。実際にまた、“会員情報”グループに含まれているメールアドレスをクリックすると、殆どの環境では、メーラが立ち上がるはずですが。

あるいは、例えば、リンク付きのものの中には、クリックされると——あるいはそれが選択されている状態で [Enter] キーあるいは [Return] キーが押されと——、同じページの別の箇所にジャンプするものもあります。実際にまた、上向きの矢印の画像をクリックすると、同じページの先頭に移動します。同様にまた、目次・注番号をクリックすると同じページの特定の場所（その目次・注番号が指し示している場所）に移動します。

ここで、リンク付きのものをクリックした場合のブラウザの動作について、纏めておきましょう。

- 1 ファイルを新たにダウンロードする。
 - 1.1 ブラウザに新たにダウンロードする^{1), 2)}。
 - 1.1.1 新しいウィンドウを開いてそのウィンドウにダウンロードする。
 - 1.1.2 既存のウィンドウにダウンロードする。
 - 1.2 ディスクにダウンロードする。
- 2 リンク付きのものがある当該 Web ページ（既にダウンロードされている）の中の特定の箇所にジ

1) 強制的にディスクにダウンロードすることもできます。そのやり方については「8.1 ローカルディスクにダウンロード」をご覧ください。

2) 新たにダウンロードした上で、その中の特定の箇所にジャンプすることもあります。

ジャンプする¹⁾。

- 宛先付きでメーラを起動する²⁾。

2. 著作権

著作権については、原則として、それぞれの作品の著作者に著作権が属しています。但し、レジюмеおよびメーリングリストの過去ログ（過去に投稿されたメール）については、ISM 研究会と著作者とが著作権を折半しています。また、会員が外部で公表したドキュメントの Web 版については、ISM 研究会は著作権を主張しません。画像については、このページの画像の項目をご参照ください。

3. Html ファイル

3.1 Html ファイルって？

3.1.1 総論

Html ファイルとは、或る一定の仕方でマーク付け³⁾がなされたテキストファイルのことです⁴⁾。実は、皆さんがブラウザでご覧になる Web ページの実体も Html ファイルです。どのブラウザでも Html ファイルを表示することができます。Html ファイルの拡張子は “.htm” です。

Html ファイルをブラウザで閲覧している時に、リンクが貼られている画像・テキスト（リンクボタン・リンクテキスト）をクリックすると、リンク先に移動したり、リンク先のファイルを入手したりすることができます。

3.1.2 リンクボタン

- 画面上部のメニューをクリックすると、行きたいページにジャンプします。
- 上向きの矢印をクリックすると、ページの先頭（一番上）にジャンプします。

3.1.3 リンクテキスト

- 目次の中の項目をクリックすると、それに対応する本文の中の項目にジャンプします。
- 本文の中の注番号をクリックすると、それに対応する注にジャンプします。

-
- 目次のリンクテキスト、本文内の注番号のリンクテキスト、注内の注番号のリンクテキスト、上向き矢印のリンクボタンなどがこれにあたります。
 - 例えば、“会員情報”グループの“会員のリスト（表形式）”のページおよび“会員のリスト（カード形式）”のページでは、メールアドレス（リンクテキスト）をクリックすると、当該メールアドレスを宛先にしてメーラが立ち上がります。同様にまた、管理人の姓がリンクテキストになっている場合には、管理人のメールアドレスを宛先にしてメーラが立ち上がります。
 - マーク付け（Mark-up）とは、ここでは、テキストファイルの中に、やはりテキストで特殊な道標を書き込んでいくことを意味します。例えば、画像を表示するには、とテキストの中に書きます（“xxx”とは画像がある場所を示す住所です）。すると、ブラウザはこの道標を解釈し、その住所から画像をダウンロードして、画面の中に画像として表示します。みなさんがブラウザを通じて実際に見るのはこの画像であって、先の道標は消えてしまっています。
 - テキストファイルについては、「5. テキストファイル」をご覧ください。

- 注の中の注番号をクリックすると、それに対応する本文の中の注番号にジャンプします。

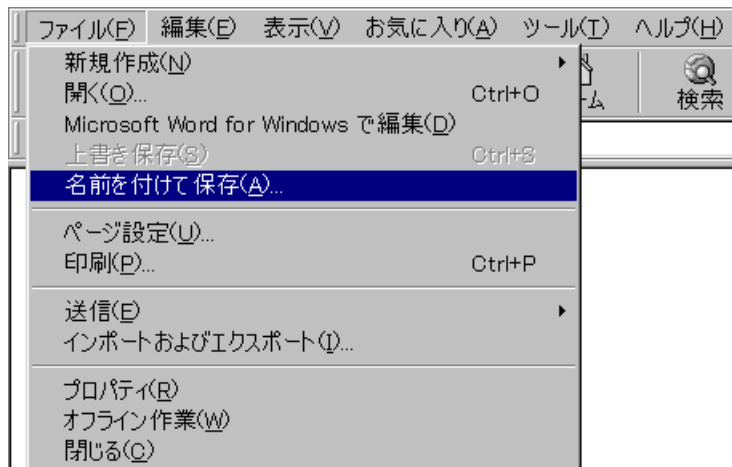
3.2 Html ファイルの保存の仕方

3.2.1 プレーンテキストとして保存する

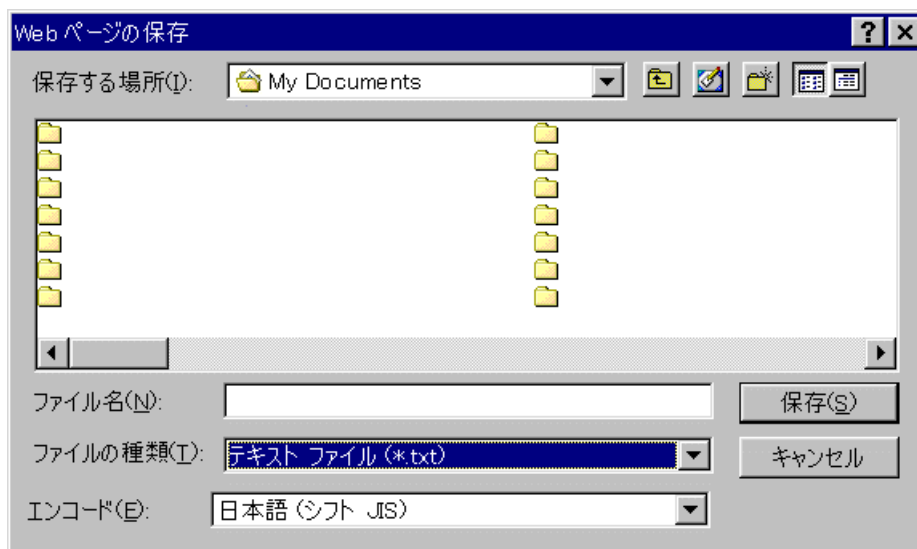
もしプレーンテキストを入手したいのであれば、Html ファイルが開かれているウィンドウ上で、簡単にプレーンテキストを入手することができます。要するに、画像もレイアウトもない素のテキストを入手することができます。

Internet Explorer (Windows 版) の場合

- ご自身がプレーンテキストにしたい Html ファイルがアクティブなウィンドウ上で表示されていることを確認します。
- メニューから“ファイル(F)” / “名前を付けて保存(A)...”を選びます。



- タイトルバーに“Web ページの保存”と表示されたウィンドウが開きます。
- このウィンドウの“ファイルの種類(T)”ドロップダウンリストから、“テキスト ファイル(*.txt)”を選びます。



- 好きなフォルダを選び、ファイルに好きな名前を付けて、“保存(S)”と表示されたプッシュボタンをクリックします。

Netscape Navigator (Windows 版) の場合

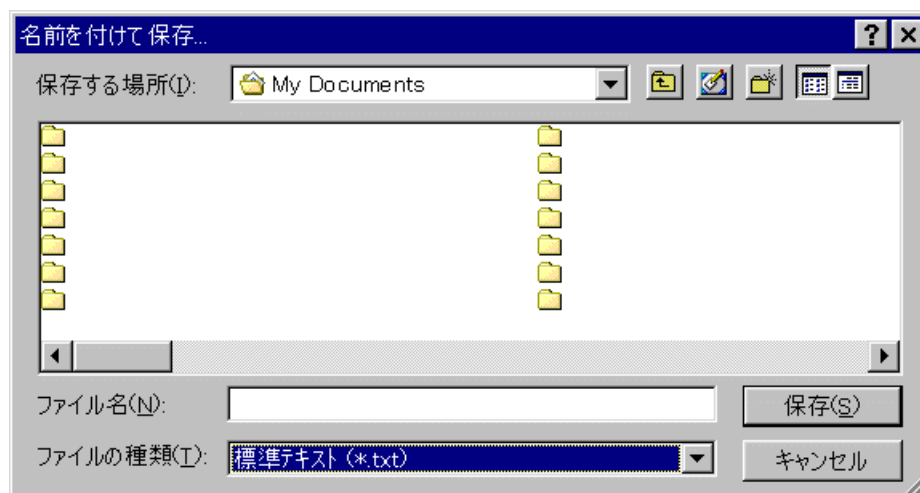
- ご自身がプレーンテキストにしたい Html ファイルがアクティブなウィンドウ上で表示されてい

ることを確認します。

- メニューから“ファイル(F)” / “名前を付けて保存(S)...” を選びます。



- タイトルバーに“名前を付けて保存...”と表示されたウィンドウが開きます。
- このウィンドウの“ファイルの種類(T)”ドロップダウンリストから、“標準テキスト(*.txt)”を選びます。



- 好きなフォルダを選び、ファイルに好きな名前を付けて、“保存(S)”と表示されたプッシュボタンをクリックします。

3.2.2 Html として保存する

もちろん、Html ファイルをプレーンテキストに変換せずに、そのまま Html ファイルとして保存することもできます。

- お使いのブラウザに応じて、上記の“プレーンテキストとして保存する”の手順の1~3までを実行します。
- 上記の“プレーンテキストとして保存する”の手順の4のところだけがちょっと違います。
 - Internet Explorer (Windows 版) の場合には、“ファイルの種類(T)”ドロップダウンリストから、“標準テキスト(*.txt)”ではなく、“Web ページ、完全(*.htm;*.html)”あるいは“Web ページ、HTML のみ(*.htm;*.html)”を選びます。
 - “Web ページ、完全(*.htm;*.html)”を選んだ場合には、そのページに表示されている総て

のファイル（画像、スタイルシート、フレームを含む）と一緒に保存されます。Internet Explorer は、当該 Html ファイルが保存されるフォルダの中に、当該 Html ファイルのファイル名に“.files”を加えた名前のサブフォルダをつくり、当該 Html ファイル以外の総てのファイルをこのサブフォルダに保存します。

- “Web ページ、HTML のみ(*.htm;*.html)”を選んだ場合には、当該 Html ファイルそのものだけを保存します。従って、後でオフラインで（インターネットから切断されて）当該 Html ファイルを閲覧する時には、オンラインで閲覧していた時には見えていた画像が見えなくなってしまうし、またオンラインではきれいに組まれていたレイアウトが崩れてしまいます。
 - Netscape Navigator（Windows 版）の場合には、“ファイルの種類(T)”ドロップダウンリストから、“標準テキスト(*.txt)”ではなく、“HTML ファイル”を選びます。
3. お使いのブラウザに応じて、上記の“プレーンテキストとして保存する”の手順の 5 を実行します。

4. 画像ファイル

4.1 画像ファイルの著作権

4.1.1 総論

ISM HP 上にある大部分の画像は管理人のオリジナルな著作物です。従って、ISM 研究会の会員はこれらの画像を無料で二次的に使用することができます。なお、レジュメおよびメーリングリストの過去ログに含まれているオリジナルな画像については、原則として、ISM 研究会と著作者とが著作権を折半しています。

ISM HP で主に使われる画像の形式は GIF ファイル（Compuserve ビットマップファイル）です。GIF ファイルの拡張子は“.gif”です。

4.1.2 キャプチャ画像

但し、念の為、無償配布されているパソコンソフト（具体的には Internet Explorer と Netscape Navigator）の解説のために、メニューとかウィンドウとかをキャプチャした画像²⁾については、皆さんはこれを使用しないでください。ISM DataBase Application のキャプチャ画像についても、念の為、皆さんはこれを使用しないでください。

パソコンソフト（具体的には Internet Explorer と Netscape Navigator）のメニューとかウィンドウとかをキャプチャした画像の使用が法的にどうなるのか、不明です³⁾。まさかメニューの文字（“ファイル”とか“編集”とか）に著作権を主張するとは思えませんが、なにしろソフト会社は何をやってくるかわかりません。ですから、ひよっとすると、Internet Explorer のメニューとかウィンドウとかをキャプ

1) 例えば、背景、リンクボタン（“お帰りはこちらから”ページにある外部サイトへのバナーを除く）、説明画像（PC からのキャプチャ画像を除く）などは完全に管理人のオリジナルな著作物です。

2) ここでは、「キャプチャした画像」または「キャプチャ画像」とは、PC のディスプレイに表示されている画面（の一部）をそのままコピーした画像のことを意味します。なお、「PDF 版への付録」の「2. 用語集」もご覧ください。

3) アメリカでは、裁判で係争中のようです。日本では、例えば Microsoft 社はアイコンの無許可使用を「原則として」許諾していません。

チャした画像については、管理人（今井）が不法使用しているのかもしれませんが。

しかしながら、Internet Explorerは無償配布されているソフトであり、また管理人がキャプチャした画像もあくまでも使用説明に限られており、更にこのサイトは無償サイトであり、しかもこのサイトのコンテンツの中でInternet Explorerのキャプチャ画面が占める割合は殆どありません。従って、私による画面キャプチャによって、営利社団法人であるMicrosoft社に具体的な経済的損害を与えているとは思えません。従って、たとえ不法行為ではあっても、損害賠償責任が生じるとは思えません。また、逸失利益についても、この程度のキャプチャで公式ガイドの売れ行きが減るわけではありません。ですから、少なくとも日本国内では、裁判をやっても負ける気がしません。

従いまして、取り敢えず管理人は画面キャプチャを使い続けます。ですが、みなさんがこれを三次使用した場合にひょっとしたら生じるかもしれない損害賠償責任には、管理人は責任を負いかねます。

4.1.3 バナー画像

また、念の為、“お帰りはこちらから”のページで使われているバナーについては、皆さんはこれを使用しないでください。

バナー画像については、原則として管理人は、無届けの使用許可を明示しているサイトか、あるいは公共機関によって運営されている公共サイトに直リンク（直接にリンク）しています。つまり、このサイトにダウンロードすることなくバナーを使用しています。

バナー画像については、皆さんがローカルディスクにダウンロードして使用しているのかどうか、サイトによって異なると思います。皆さんがそのようなバナー画像をローカルディスク（ここではこのサイト以外のありとあらゆる記憶領域のことを意味します）にダウンロードして利用する場合に生じるかもしれない損害賠償責任には、管理人は責任を負いかねます。

4.2 画像ファイルの保存の仕方

ページ上の画像を保存するには、あなたが保存したい画像があるページ上で、ブラウザが提供する方法で画像を保存してください。

- Windows版Internet Explorerの場合には、保存したい画像上にマウスポインタを移動させ、マウスの右ボタンをクリックしてコンテキストメニューを開き、“名前を付けて画像を保存(S)...”を選択します。
- Netscape Navigatorの場合には、保存したい画像上にマウスポインタを移動させ、Windows版あるいはUNIX版ではマウスの右ボタンをクリックして——Mac版ではマウスのボタンを押し続けて——コンテキストメニューを開き、“画像を名前を付けて保存(I)...”を選択します。

5. テキストファイル

テキストファイルは総てWindows上で定義されています。従って、漢字コードはShift-JIS、改行コードは[CR/LF]、拡張子は“.txt”です。

特殊なテキストファイルとしてCSVファイルがあります。これはデータベースソフト、表計算ソフト

-
- 1) ダイアログボックスについては、Internet ExplorerあるいはNetscape Navigatorが呼び出しているとは言っても、機能を提供しているのは市販品であるMicrosoft Windowsです。従って、不法性はより高いと言えます。

しかも、管理人は説明の必要上、止むを得ない場合に限ってはありますが、キャプチャ画像をテキストから切り離したり、その一部を省略したり、改変したりしています。この場合には、同一性保持権を侵害している点で、特に不法性が高いかもしれません。

トなどで表形式で使えるような形式で書かれたテキストファイルです¹⁾。ISM HP では、CSV ファイルの拡張子も “.txt” です²⁾。

Mac での改行コードは [CR]、また UNIX での改行コードは [LF] です。Mac をお使いの方は PC Exchange (OS 8.5 以降は File Exchange に統合された) をご利用ください。UNIX をお使いの方は、適切なコード変換ソフト (大部分は無料) を入手してください。但し、テキストファイルを一旦、ブラウザにダウンロードしてからテキスト形式で保存すると、もしブラウザにダウンロードした時に文字化けしていなければ、自動的に改行コードが修正されているはず³⁾。

6. Lha

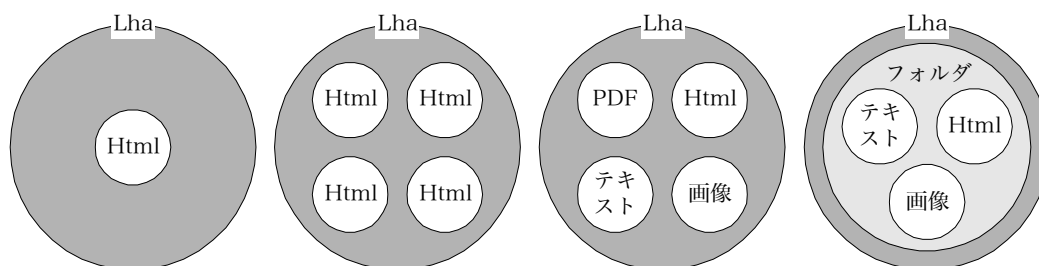
6.1 Lha ファイルとは？

ファイルの大きさを小さくすることを**圧縮**と言います。圧縮されたファイルは、そのままでは使い物になりませんから、元のファイルに戻してやらなければなりません (冷凍された鮭赤身はそのままでは固くて冷たくて食べ物にならないから、解凍してやらなければならないようなものです)。元のファイルに戻すことを**解凍**とか**展開**とかと言います。

Lha ファイルとは、ここでは Lha 形式で圧縮されたファイルのことです。Lha 形式とは、吉崎栄泰さんが開発した圧縮方法のことです。

Lha とは、ファイルの圧縮の形式を指すのであって、実際のコンテンツ (内容) の形式を指すものではありません (下図)。従って、一口に Lha ファイルと言っても、Html ファイルもテキストファイルも PDF ファイルもその他のファイルも何でも、もし Lha 形式で圧縮されていさえすれば、Lha ファイルになります (鮭赤身も炒飯もミートソースも冷凍されていさえすれば冷凍食品になるようなものです)。ダウンロードする前に、解凍後にどんなファイルになるのかをご確認の上、ダウンロードしてください⁴⁾。また、圧縮する際に複数の (時には種類が異なる) ファイルが一つの Lha ファイルに含まれていることがあります (プラスチックのケースに焼売 5 個と牛ひれブロック 1 斤と餅 3 個を入れてそのまま冷凍したようなものです)。

-
- 1) ここでは、カンマ区切りの CSV ファイルだけではなく、タブ区切りのファイルも CSV ファイルに含めています。なお、ISM HP の仕様では、フィールドの区切りはカンマ (,) あるいはタブ (Tab)、レコードの区切りは改行 (CR/LF)、第一行目のレコードはフィールド名であり、また文字列フィールドのみを二重引用符 (") で囲んでいます。詳しくは普段お使いのデータベースソフトあるいは表計算ソフト (あるいはワープロソフト) をご覧ください。
 - 2) 既に「3.1 Html ファイルって？」で見たように、実は、Html ファイルも特殊な形式で書かれたテキストファイルですが、既に見たように Html ファイルの場合には拡張子が “.txt” ではなく “.htm” になっています。
 - 3) つまり、Internet Explorer および Netscape Navigator を始めとする大抵のブラウザは、自動的に改行コードを、あなたがお使いのシステムに合うように変換しようとしてくれます。もちろん、ブラウザにダウンロードするのではなく、ディスクにダウンロードした場合——Lha 形式 (後述) でテキストファイルが圧縮されている場合もこれに含まれます——は、この限りではありません。
但し、ブラウザがテキストファイルの文字コードの解釈に失敗すると、文字化けしてしまいます。これはブラウザ上で確認することができます。この場合には、一旦、ディスクにファイルを保存してから、改行コードを変換しなければなりません。
 - 4) ISM HP では、Lha ファイルについては、ダウンロードのためのリンクが貼られているページ上で、元ファイルの形式が明記されています。
-



Lha 形式で圧縮されたファイルの拡張子は “.lzh” です。解凍後はそれぞれのファイルの本来の拡張子が付けられています。

6.2 Lha ファイルを利用するには？

Lha 形式で圧縮されたファイルを読むためには、**解凍ソフトが必要**です。Lha 解凍ソフトの大部分は無料です。Windows 版の解凍ソフトについては、管理人は LHA ユーティリティ 32 (大竹和則さん作) をお奨めいたします。もちろん、無料です。Mac 版、Unix 版の解凍ソフトについては、申し訳ありませんが、管理人はよく存じ上げていません。Vector などでも無料の解凍ソフトをお探してください。Vector で調べたところ、Mac 版では、無料の解凍ソフトとしては Mac LHA (k.ishi さん作)、LHA Expander (関野雅則さん作) などがあるようです。また、Windows 版では、無料の解凍ソフトとしては、Lha ユーティリティ 32 の他に、Lhasa for Win32 が定番になっています。

PC (パソコン) 雑誌の付録 CD-Rom には、しばしばたくさんの無料ソフトが収録されていることがあります。オンラインで (インターネットを通じて) ダウンロードするのが面倒であれば、PC 雑誌の付録の CD-Rom を探すのも一つの手です。金がかかりますが、時間はかかりません。

7. PDF

7.1 PDF ファイルとは？

PDF とは、ここでは Acrobat PDF のことです。Acrobat PDF とは、Adobe 社が開発した——プラットフォームを越えてレイアウト情報を維持したまま閲覧・印刷することができる——ファイル形式のことです。PDF ファイルの拡張子は “.pdf” です。

Acrobat PDF は、テキストファイルとは異なって、レイアウト付きです。また、レイアウトも文字も画像も、Html ファイルとは比較にならないほど鮮明です。従って、PDF は印刷するのに向いています。

以下に PDF と Html ファイルとの比較を書いておきます。ご参照ください。

	PDF	Html
レイアウト・文字・画像	美しい	薄汚い
ファイルサイズ	大きい	小さい
全文検索	不可能	可能
テキストの再利用	困難	簡単
必要なソフト	Acrobat Reader	ブラウザ
用途	印刷	画面表示

7.2 PDF ファイルを閲覧するには？

Acrobat PDF を読むためには、Acrobat Reader が必要です。ISM HP の PDF ファイルを閲覧するには、**Acrobat Reader 4.0 以上が必要**です。

Acrobat Reader は、Adobe 社がオンラインで（インターネットを通じて）、
<http://www.adobe.co.jp/product/acrobat/readstep.html>
において無料で配布しています。

PC（パソコン）雑誌の中には、付録 CD-Rom に Acrobat Reader が収録されているものもあります。オンラインで（インターネットを通じて）Acrobat Reader をダウンロードするには時間がかかります。時間を惜しむ方は手頃な PC 雑誌を買って、付録 CD-Rom からインストールしてはいかがでしょうか。金はかかりますが、時間はかかりません。

PDF のファイルサイズは、Html のサイズよりも遥かに大きくなってしまいます（しかも、オンラインで閲覧しようとする、Internet Explorer の場合にはメニューが使いません）。ダウンロードする際には、一度ローカルディスク（あなたのパソコンのディスク）に保存するのがストレスが溜まらないやり方だと思います。その方法については、以下のダウンロードテクニックをご覧ください。

8. ダウンロードテクニック

8.1 ローカルディスクにダウンロード

8.1.1 総論

あまり高速ではない通信環境をお使いの場合には、PDF ファイルのようなサイズの大きいファイルをダウンロードする際には、ブラウザのウィンドウにダウンロードするのではなく、**ローカルディスク¹⁾にダウンロードするのがお勧めです²⁾**。そして、“早くウィンドウに表示されないか”と思いながら口をぽかんと開けてディスプレイを見続けるのではなく、ダウンロードされている間の時間を、お茶を飲むとか、漫画を読むとか、テレビを見るとか、そういうもっと有意義で人間的なことに費やすわけです。

オンライン（インターネットに繋がれた状態）で閲覧するよりも、一度ローカルディスクにダウンロードしておいて、後でオフライン（インターネットから切断された状態）で閲覧の方が少なくとも体感的にはスピードアップします。それに、オンラインで情報量が多いドキュメントを閲覧していると、実際には通信していない時間が増えてしまい、電話回線を通じてアクセスしている人にとっては電話料金の無駄になります³⁾。特に Acrobat PDF ファイルの場合には、オンラインで（ブラウザの中で）見ようとする、Acrobat Reader 本来のメニューが使えない、画像の展開が遅いなど、いろいろと不便です。Acrobat PDF については、一旦ローカルディスクにダウンロードしてオフラインで Acrobat Reader を立ち上げて閲覧することを強く推奨します。

リンクボタン／リンクテキストが示すファイルが、ウィンドウにダウンロードされない⁴⁾種類のファ

-
- 1) ローカルディスクとは、ここでは、当該ファイルが置いてあるサーバのディスク以外のディスクのことです。それは何よりもまず、あなたがお使いになっている端末に組み込まれているローカルディスクのことです。けれども、あなたがお使いになっている端末が高速にアクセスすることができるリモートディスクもここでのローカルディスクの定義に含まれます。
 - 2) 技術的な問題に詳しい方への注。本当はこれは不正確な記述です。と言うのも、オンラインでブラウズする場合にも、テンポラリファイルにファイル内容が書き込まれるからです。けれども、通常は、ユーザはこのことをあまり意識していないように思われますから、このような不正確な記述に留めました。
 - 3) もちろん、NTT とテレ放題契約（後述）を結んでいる人がテレホタイムに閲覧している場合には、この限りではありません。
 - 4) 技術的な問題に詳しい方への注。ブラウザはサーバから送られてくる MIME Type 情報に基づいて、ダウンロ
-

イル (Lha ファイル, exe ファイルなど) である場合には, そのリンクボタン/リンクテキストをクリックすると, 自動的にディスク上にダウンロード (保存) されます。

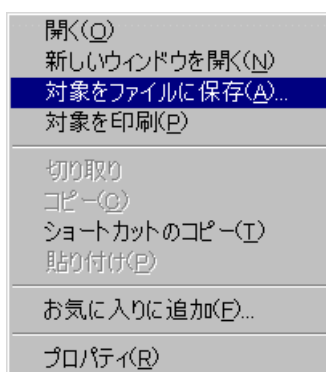
これに対して, Html ファイル, テキストファイル, Gif ファイルなどについては, それを示すリンクボタン/リンクテキストをクリックすると, ブラウザのウィンドウに表示されてしまいます。同様にまた, PDF ファイルも, プラグインがインストールされている環境では, それを示すリンクボタン/リンクテキストをクリックすると, ブラウザのウィンドウ内に表示されてしまいます。

8.1.2 Internet Explorer を使う場合

ボタンが示すファイルが Html ファイル, テキストファイル, Gif ファイル, PDF などウィンドウにダウンロードされる種類のファイルである場合には, 以下のような手順を取ると, Internet Explorer (Windows 版) で, ディスクにダウンロードすることができます。

a. マウスを使う場合 (Windows 版)

1. リンクボタン/リンクテキストの上にマウスのポインタ (カーソル) を移動させます。
2. マウスの右ボタンをクリックすると, コンテキストメニューを表示させます。
3. コンテキストメニューから, “対象をファイルに保存(A)...” を選びます。



b. マウスを使わない場合

1. [Tab] キーとか [Shift] + [Tab] キーとかを押して, リンクボタン/リンクテキストを選択します。
2. [Shift] + [F10] を押すと, コンテキストメニューが表示されます。
3. コンテキストメニューから, “対象をファイルに保存(A)...” を選びます (画面については「b. マウスを使う場合」を参照してください)。

8.1.3 Netscape Navigator を使う場合

ボタンが示すファイルが Html ファイル, テキストファイル, Gif ファイル, PDF などウィンドウにダウンロードされる種類のファイルである場合には, 以下のような手順を取ると, Netscape Navigator で, ディスクにダウンロードすることができます。

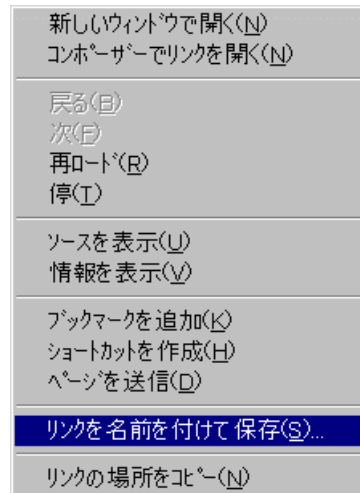
a. コンテキストメニューを使う場合

1. リンクボタン/リンクテキストの上にマウスのポインタ (カーソル) を移動させます。
2. コンテキストメニューを表示させます。
 - Windows 版, Unix 版の場合には, マウスの右ボタンをクリックしてコンテキストメニューを

ードの仕方を決定するはずでず。そして, サーバの MIME Type 情報はファイルの拡張子のデータベースに基づいています。従って, ダウンロードの仕方については, 拡張子の命名によって管理人側でこれを決定することができるはずでず。ところが, Internet Explorer はサーバが送信する MIME Type 情報を無視するようでず。例えば, Html ファイルの拡張子を.htm から.exe に変更しても, Internet Explorer は強制的にブラウザにダウンロードする (つまりブラウザのウィンドウ内で表示させようとする) ようでず。

表示させます。

- Mac 版の場合には、マウスのボタンを押し続けてコンテキストメニューを表示させます（コンテキストメニューが出るまでマウスのボタンを押し続けます）。
3. コンテキストメニューから、“リンクを名前を付けて保存(S)...” を選びます。



b. コンテキストメニューを使わない場合

1. リンクボタン／リンクテキストの上にマウスのポインタ（カーソル）を移動させます。
2. 特殊なやり方でマウスをクリックします。
 - Windows 版, Unix 版では [Shift] キーを押しながらリンクボタン／リンクテキストをクリックすると、ディスクにダウンロードすることができます。
 - Mac 版では [option] キーを押しながらリンクボタン／リンクテキストをクリックすると、ディスクにダウンロードすることができます。

8.1.4 注意点

Html ファイル（但し、Lha 圧縮された Html ファイルを除く）については、上記のやり方でローカルディスクにダウンロードすると、画像もレイアウト（の大部分）も失われてしまいます。もし画像とレイアウトとを保持したいのであれば、お手数でもどうか一旦ウィンドウ内に表示してから、「3.2.2 Html として保存する」に記載された通りに、保存するようにしてください。

8.2 ダウンロードする時間帯

これはダウンロードテクニックというわけではありませんが、大きなファイルをダウンロードする時には、日本でご自身で NTT のアナログ電話回線を通じてインターネットにアクセスしている方は、23:00 以降にダウンロードを行うことをお勧めします。特に、NTT のアナログ電話回線を通じてインターネットを使うならば、テレ放題（テレホ）契約をすることをお勧めします。これは 23:00～07:00 までの間（テレホタイム）は電話をいくらかけ続けても固定料金を支払うだけでいいというものです。また、たとえテレ放題契約を行っていなくても、23:00 以降には深夜割引が有効になります。

但し、ほかの人も同じことを考えているので、23:00 から 01:00 頃までは、非常に回線が混み合います。従って、ダウンロードの速度も遅くなります。

トラブルシューティング

ここでは、起こるかもしれないトラブルについて、原因と対策とを掲載しておきます。

文字が化けてしまってページが読めない！

原因

Web ページの実体をなす Html ファイルで、どのようにコード化された（番号を割り振られた）文字セットが使われているのか、ブラウザが間違っちゃったせいです。特に ISM 研究会のホームページでは、日本語文字のコード化のやり方として Shift-JIS に対応したやり方を採用し、ブラウザにそれを指示しているのですが、一部のブラウザ（Netscape Navigator Ver. 2.0 など）はこの指示を理解することができないかもしれません。

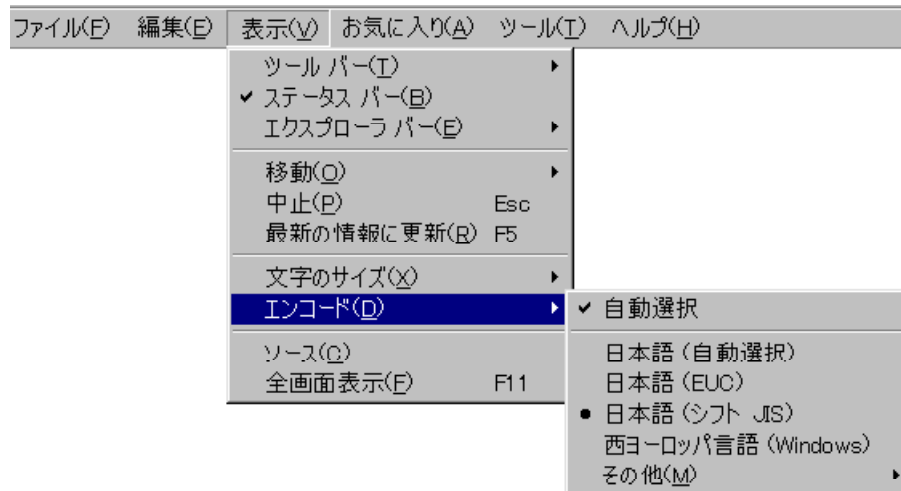
対策

Internet Explorer の場合

次の三つのどれかを実行します。

a. メニューバーを使う場合

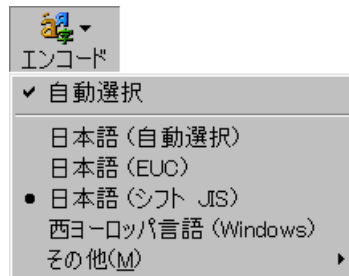
1. メニューバー上で、“表示(V)” / “エンコード(D)” を選択します。



2. Shift-JIS に相当する文字セット名があるはずですから、それを選択します。

b. ツールバーを使う場合

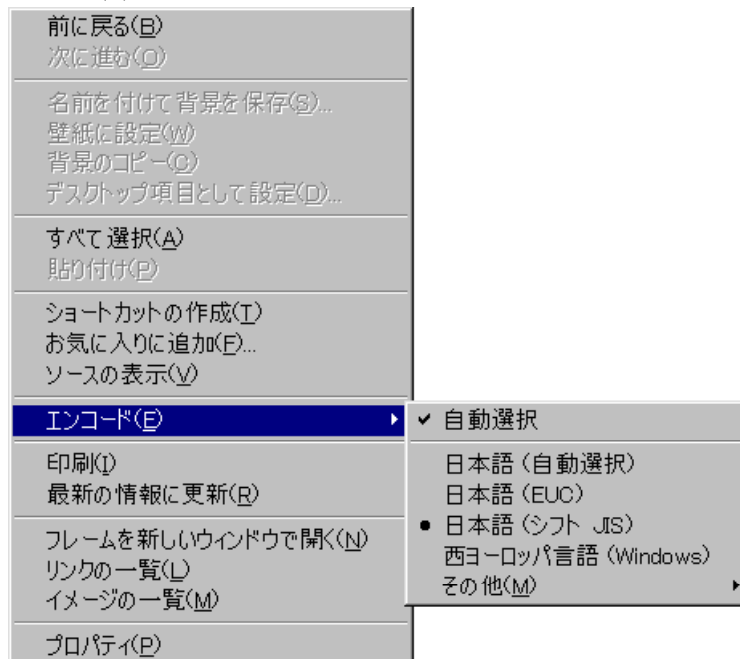
1. ツールバー上で、“エンコード” ボタンをクリックします。すると、メニューがプルダウンして（ぶら下がって）くるはずですが。



2. Shift-JIS に相当する文字セット名があるはずですから、それを選択します。

c. コンテキストメニューを使う場合

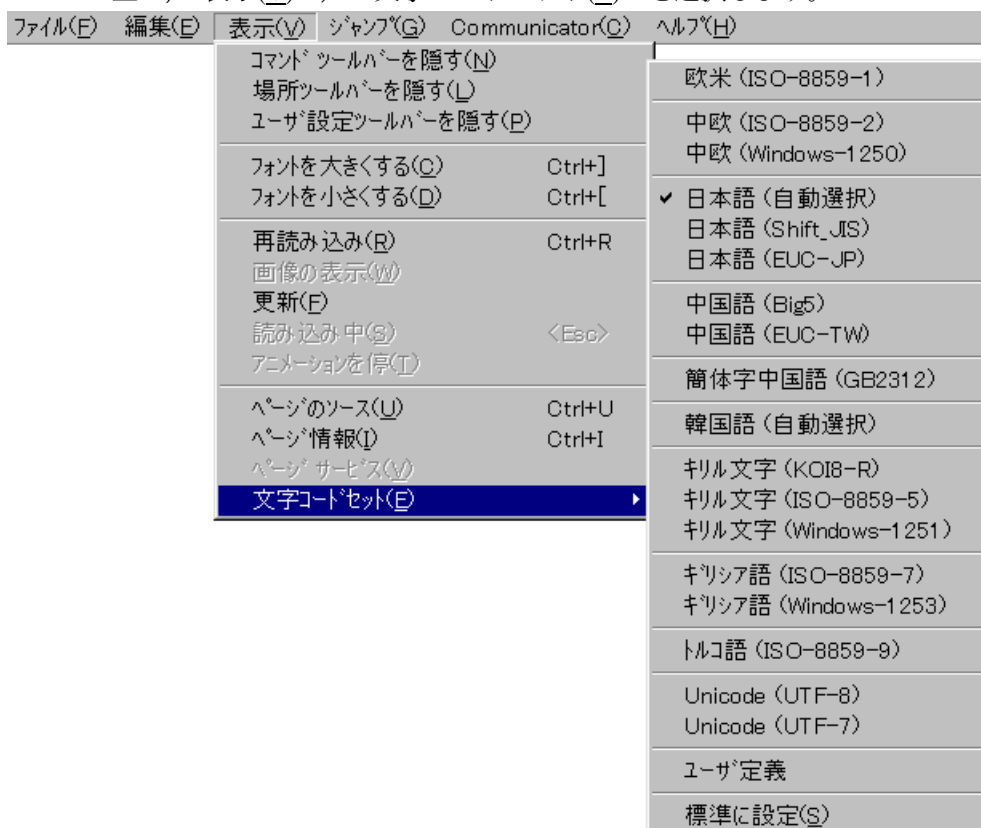
1. マウスの右ボタンをクリックするなどして、コンテキストメニューを表示し、コンテキストメニュー上で“エンコード(E)”を選択します。



2. Shift-JIS に相当する文字セット名があるはずですから、それを選択します。

Netscape Navigator の場合

1. メニューバー上で、“表示(V)” / “文字コードセット(E)” を選択します。



2. Shift-JIS に相当する文字セット名があるはずですから、それを選択します。

特定の文字が判別不能になってしまっている

原因

ページ全体が文字化けしているわけではないが、特にドイツ語の文字（例えば“Ö”とか“ß”とか）なんか“?”とか“□”とかになってしまっているということがあります。これはあなたのブラウザがそういう文字に対応していない¹⁾からです。

対策

取り敢えずブラウザを最新のブラウザにバージョンアップ（変更）するようにしてください。共用のコンピュータをお使いの方は、ブラウザを最新のブラウザにバージョンアップするように、システム管理者に要請してください。なお、当方で確認している限りでは、Internet Explorer では ver. 5.0 以上、Netscape Navigator では ver. 6.0 以上が、ドイツ語の文字を表示することができます²⁾。

- 1) 技術的な問題に詳しい方への注。要するに、文字実体参照で定義されたキャラクタを利用可能なフォントにマップすることができないということです。
- 2) 技術的な問題に詳しい方への注。どうやら Shift-JIS で文字実体参照するのではなく、utf-8 でダイレクトにエンコードすれば、Netscape Navigator の ver. 4.7 以上でも、ドイツ語の文字を表示することができるようです。

共用コンピュータをお使いの方、あるいは古い PC をお使いの方はブラウザのバージョンアップが不可能であるかもしれません。それが不可能である場合には、もし同じドキュメントが PDF 版でも提供されているのであれば、PDF 版の方をダウンロードしてください。ISM 研究会のホームページが作成したものについて言うと、PDF 版は、その PDF を読むことさえできれば、必ず特殊文字が表示されません。

文字が小さくてページが読みにくい！

原因

いろんな原因が考えられます。が、一般的には、ブラウザで指定されている標準フォントの大きさが小さいとことでしょう。なお、ISM 研究会のホームページは文字の大きさを直接に（絶対サイズで）指定するようなことはしていませんが、背景の色と文字の色との関係で、同じ文字の大きさであっても、特定の Web ページが他の Web ページに較べて読みにくくなるということがあります。

対策

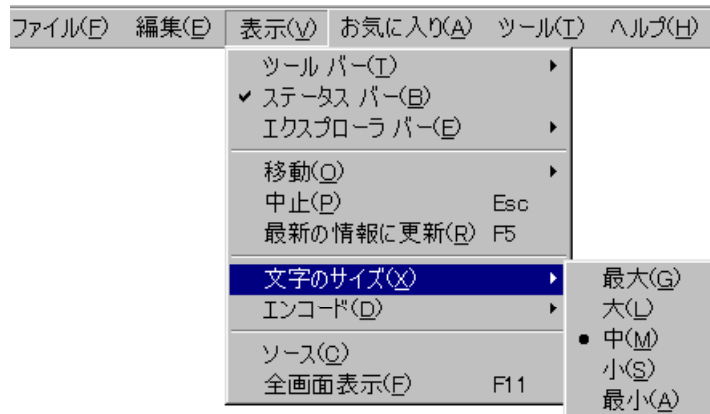
スタイルシートを書き換えるとかいろんなやり方がありますが、ここでは簡単なやり方だけを紹介합니다。

Internet Explorer の場合

次のどちらかを実行します。

a. メニューバーを使う場合

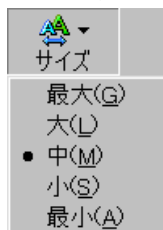
- メニューバー上で“表示(V)” / “文字のサイズ(X)” を選択し、適切な文字サイズを選択します。



けれども、互換性の観点から、ISM 研究会ホームページは、いまのところ、Shift-JIS でエンコードするようにしています。古いブラウザで表示することができないのは、Shift-JIS でエンコードした場合には文字実体参照した部分の中でも一部分だけですが、utf-8 でエンコードした場合には総ての文字になるからです。

b. ツールバーを使う場合

- ツールバー上で“サイズ” ボタンをクリックし、適切な文字サイズを選択します。

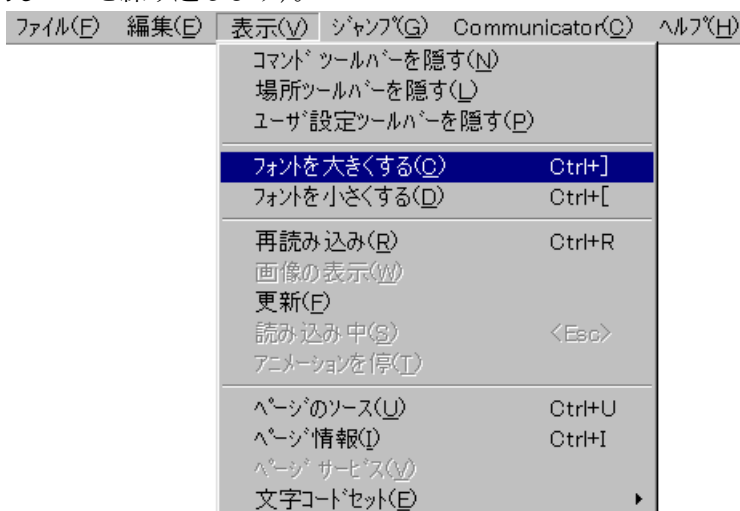


Netscape Navigator の場合

次のどちらかを実行します。

a. メニューバーを使う場合

- メニューバー上で“表示(V)” / “フォントを大きくする(C)” を選択します (好みの大きさになるまで何度でも同じことを繰り返します)。



b. キーボードを使う場合

- キーボードで[Ctrl]と [+] とを同時に押します (好みの大きさになるまで何度でも同じことを繰り返します)。

画像が多くてうざってーんだよ！

原因

ISM 研究会ホームページでは、数多くの画像が使われています。Web ページで表示されている画像の実体をなす画像ファイルのファイルサイズは、Html ファイルそのもののそれと較べて遥かに大きいのです。そこで、Html ファイルだけを外部通信回線を通じて読み込むだけならば、瞬時にあなたの端末の画面に Web ページが表示されますが、画像を表示しようとする、遅い外部通信回線を通じて巨大な画像ファイルをダウンロードしなければならず、画像を含んだ Web ページを表示するのに時間がかかってしまうのです。

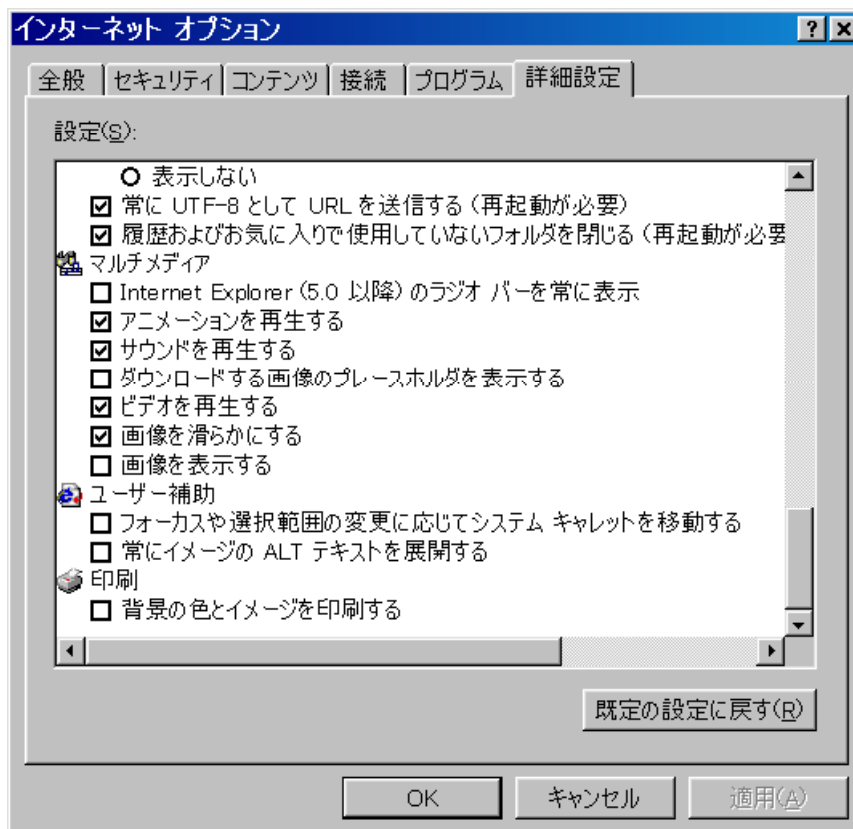
このような画像は一度ブラウザ (Internet Explorer あるいは Netscape Navigator の場合) に読み込まれると、しばらくの間はキャッシュ (あなたの端末にあるディスク・メモリ上の領域) に保存されているので、高速に表示されます。けれども、例えば一週間後に再び ISM 研究会ホームページにアクセスしてみると、また外部通信回線を通じて画像を読み込むのにいらいらすることになるかもしれません。

対策

画像ファイルを Html ファイルと同時にダウンロードしないようなテキストブラウザ (Lynx など) もありますが、ここでは Internet Explorer あるいは Netscape Navigator の使用を前提します。

Internet Explorer の場合

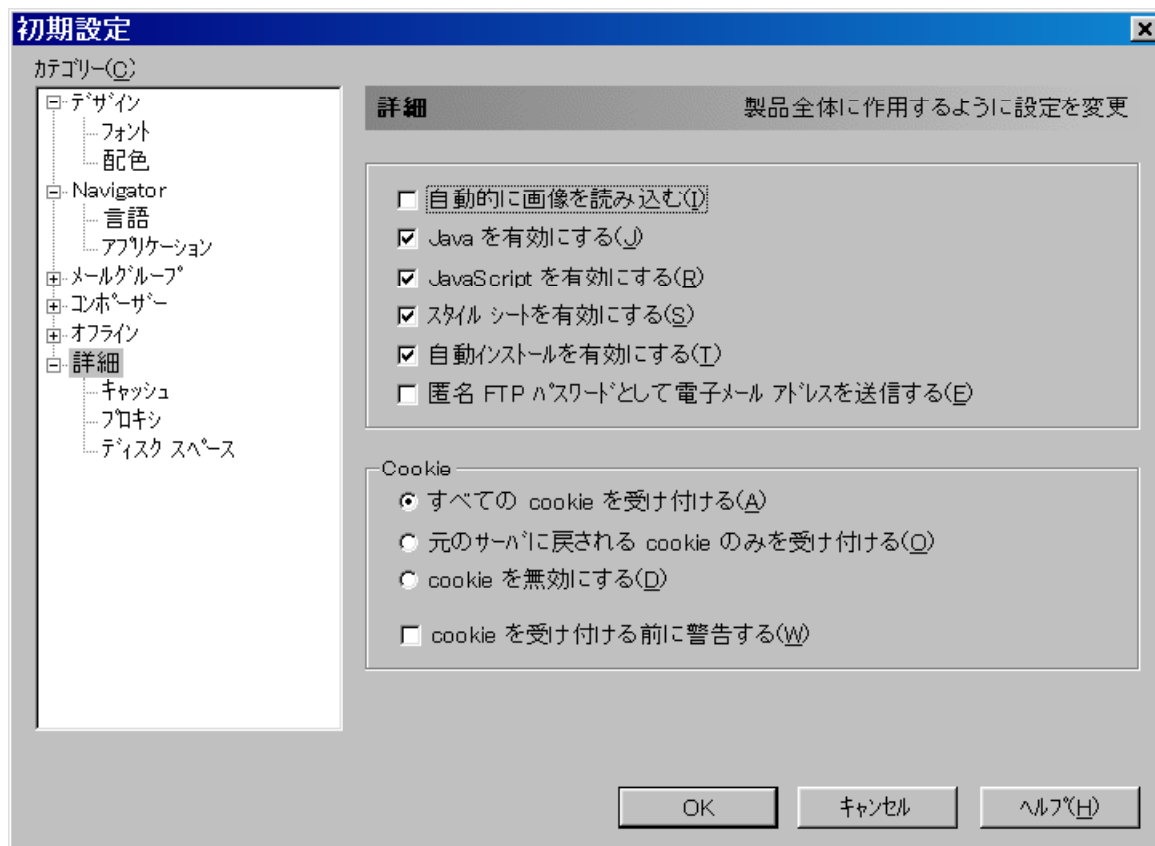
4. メニューバー上で“ツール(T)” / “インターネット オプション(O)...” を選択します。すると、タイトルバーに“インターネット オプション”と表示されたダイアログボックスが開きます。
5. このダイアログボックス上で、“詳細設定” ページタブをクリックします。すると、以下のようなページが表示されます。
6. このページ上で、“マルチメディア” 項の“画像を表示する” チェックボックスをクリックして、チェックを外します。



Netscape Navigator の場合

1. メニューバー上で“編集(E)” / “初期設定(E)” を選択します。すると、タイトルバーに“初期設定”と表示されたダイアログボックスが開きます。
2. ダイアログボックスの左半分にあるツリービューから“詳細” を選択します。

3. ダイアログボックスの右半分にある“自動的に画像を読み込む(I)”チェックボックスをクリックして、チェックを外します。



ダウンロードの途中で回線が切れてしまった！

原因

いろいろな原因が考えられます。ISM 研究会のホームページのサーバに問題があるのかもしれませんが、あなたがお使いのプロバイダのサーバに問題があるのかもしれませんが、通信回線に問題があるのかもしれませんが、あなたがお使いの端末に問題があるのかもしれませんが。

対策

速攻、ダウンロード再開だ！

あるファイルのダウンロードが途中で失敗した時に、もう一度同じそのファイルをダウンロードすると仮定します。この場合に、最初からダウンロードし直すのではなく、失敗した時点までのデータを一時ファイルとして保存しておいて、失敗した時点以後のデータだけダウンロードすることを、ここではダウンロードのレジュームと呼んでおきます。ダウンロードのレジュームにおいては、ダウンロードサービスを提供するサーバと、あなたの端末にあるクライアント——ブラウザからダウンロードする場合には、要するにブラウザのことです——との両者がこの機能に対応していなければなりません。

ISM 研究会ホームページが使用しているサーバはレジューム機能に対応しています。そこで、ブラウザを使ってダウンロードする場合には、残る問題はブラウザがこの機能に対応しているかどうかです。Internet Explorer の ver. 5.0 以上はこの機能に対応しています。Internet Explorer の ver. 5.0 以上をブラウザとしてお使いの方は、速攻、ダウンロードを再開してください。最初からダウンロードするの

ではなく、途中からダウンロードするわけですから、ダウンロード時間が遙かに短くなるはずですが。

問題は Netscape Navigator でした、管理人が知る限りでは少なくとも Netscape Navigator の ver. 4.7 まではレジューム機能に対応していません。

ダウンロードツールを使う

ダウンロードツールというのは、ここでは、ファイルを大量にダウンロードするのを支援するツールのことを意味します。このようなソフトの普及の動力は画像ファイルのダウンロードだったのですが、多くのダウンロードツールは画像ファイルだけではなく、様々な形式のファイルのダウンロードに対応しているはずですが。更にまた、Web ページ (Html ファイルとそれにリンクされたファイル) のダウンロードを主眼にしているダウンロードツールもあります。

このようなダウンロードツールの多くは、レジューム機能に対応していますし、またダウンロードを再開するのも自動的に行ってくれます。従って、このようなツールを使うと、不安定な回線でも、楽々ダウンロードすることができます。

このようなダウンロードツールの殆どは、Vector などのサイトから、無料あるいは廉価に入手することができます。但し、有名なダウンロードツールがウイルスに感染していたという事件があったので、ご自身の責任で、信頼できるサイトから信頼できるソフトを入手するようにしてください。

ISM 研究会のホームページのアドレスを忘れてしまう

原因

ISM 研究会のホームページのアドレス (メインページのアドレス) はどちらかと言うと単純です。けれども、http だとか www だとか意味不明の呪文が混じっているのが大いに困ります。また、ISM 研究会のホームページに属する各々の Web ページは、メインページからアクセスすることができますが、直接にアドレス (URL) を覚えるのは一苦勞です。

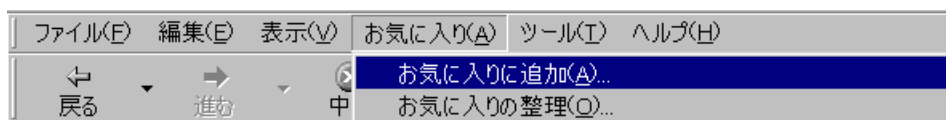
対策

“ブックマーク” (Netscape Navigator) あるいは“お気に入り” (Internet Explorer) を使うと、ホームページのアドレス (URL) を覚えなくても、ブラウザから一発でお好みのページを閲覧することができますようになります。これは ISM 研究会のホームページのメインページだけではなく、ISM 研究会のホームページに属するどの Web ページにも使える手です。ですから、特定のページ (例えば“例会”グループの“今後の予定”ページ) にしかアクセスしない方は、そのページにブックマークを付ける / そのページをお気に入りに入れると、いちいちメインページからリンクをたどる必要がないので、非常に便利です。

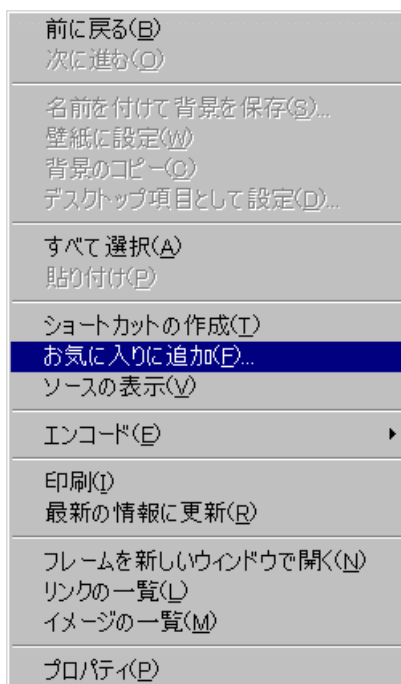
Internet Explorer の場合

Internet Explorer の場合には、お気に入りに追加したいページを開いたままで、(i) キーボード上で [Ctrl] キーと [D] キーとを同時に押す (Windows 版の場合) か、(ii) メニューバーのメニューから“お気に入り(A)” / “お気に入りに追加(A)...” を選ぶか、あるいは (iii) マウスの右ボタンをクリックしコンテキストメニューを表示して“お気に入りに追加(E)...” を選ぶか (Windows 版の場合) します。

(ii) メニューバーのメニューから



(iii) コンテキストメニューから



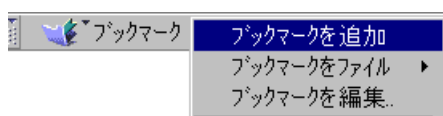
Netscape Navigator の場合

Netscape Navigator の場合には、お気に入りに追加したいページを開いたままで、(i) キーボード上で [Ctrl] キーと [D] とを同時に押す (Windows 版の場合) か、(ii) メニューバーのメニューから “Communicator(C)” / “ブックマーク(B)” / “ブックマークを追加(K)...” を選ぶか、(iii) ツールバー上の “ブックマーク” ボタンをクリックして “ブックマークを追加” を選ぶか、(iv) あるいはマウスの右ボタンをクリックしコンテキストメニューを表示して “ブックマークを追加(K)...” を選ぶか (Windows 版の場合) します。

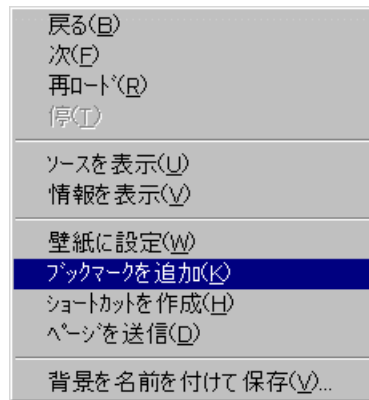
(ii) メニューバーのメニューから



(iii) ツールバーから



(iv) コンテキストメニューから



PDF 版への付録

1. 一覧表

1.1 キーボード操作のまとめ

キー	機能	環境
[Enter] または [Return]	選択されたリンクボタン／リンクテキストを実行 (クリックするのと同じ効果)	殆ど全ての OS・ブラウザ
[Tab]	リンクボタン／リンクテキストを逆方向 (下から上) に移動して選択	殆ど全ての OS・ブラウザ
[Shift] + [Tab]	リンクボタン／リンクテキストを逆方向 (下から上) に移動して選択	殆ど全ての OS・ブラウザ
[↑]	上方向にほんの少しスクロール (垂直スクロールバーが現れている場合)	殆ど全ての OS・ブラウザ
[↓]	下方向にほんの少しスクロール (垂直スクロールバーが現れている場合)	殆ど全ての OS・ブラウザ
[→]	右方向にほんの少しスクロール (水平スクロールバーが現れている場合)	殆ど全ての OS・ブラウザ
[←]	左方向にほんの少しスクロール (水平スクロールバーが現れている場合)	殆ど全ての OS・ブラウザ
[PageUp]	上方向に一画面づつスクロール (垂直スクロールバーが現れている場合)	殆ど全ての OS・ブラウザ
[PageDown]	下方向に一画面づつスクロール (垂直スクロールバーが現れている場合)	殆ど全ての OS・ブラウザ
[Home]	ページの一番上に移動 (垂直スクロールバーが現れている場合)	殆ど全ての OS・ブラウザ
[End]	ページの一番下に移動 (垂直スクロールバーが現れている場合)	殆ど全ての OS・ブラウザ
[Shift] + [F10]	コンテキストメニューを表示させる (マウスの右ボタンをクリックするのと同じ効果)	ブラウザとして Internet Explorer を使っている場合
[Alt] (あるいは [Graph] あるいは [Command]) + [M]	メニューボタンあるいはフッターボタンの “Main” (メインページに移動するためのボタン) を選択	ブラウザとして Internet Explorer を使っている場合
[Alt] (あるいは [Graph] あるいは [Command]) + [R]	メニューボタンの “Read This, Please!” (“最初にご覧ください”) のページに移動するためのボタン) を選択	ブラウザとして Internet Explorer を使っている場合
[Alt] (あるいは [Graph] あるいは [Command]) +	メニューボタンの “What’s New?” (“新着情報・更新履歴”) のページに移動するためのボタン) を選択	ブラウザとして Internet Explorer を使っている場合

[W]		
[Alt] (あるいは [Graph] あるいは [Command]) + [T]	メニューボタンあるいはフッターボタンの“Top” (そのグループのトップページに移動するためのボタン) を選択	ブラウザとして Internet Explorer を使っている場合
[Alt] (あるいは [Graph] あるいは [Command]) + [P]	フッターボタンの“←” (そのグループに属する一つ前のページに移動するためのボタン) を選択	ブラウザとして Internet Explorer を使っている場合
[Alt] (あるいは [Graph] あるいは [Command]) + [U]	フッターボタンの“↑” (そのページの一番上に移動するためのボタン) を選択	ブラウザとして Internet Explorer を使っている場合
[Alt] (あるいは [Graph] あるいは [Command]) + [N]	フッターボタンの“→” (そのグループに属する一つ後のページに移動するためのボタン) を選択	ブラウザとして Internet Explorer を使っている場合

1.2 拡張子の纏め

ファイルの種類と拡張子との関係について、下表でまとめておきます。Mac ユーザの方以外は、気楽に読み飛ばしてください。なお、ノードと拡張子とを区切るピリオドについては、ここでは、これを省略しています。Mac ユーザの方は、一般的には、下表での「ファイルの種類」フィールドは Type に、「関連付け」フィールドは Creator に、「編集用」フィールドは当該ファイルをドラッグアンドドロップすることができるアイコンに相当するとお考えください。

拡張子	ファイルの種類	関連付け	編集用
htm	Html ファイル	ブラウザ	テキストエディタ, ワードプロセッサ, レイアウト, ホームページ作成ソフト
txt	テキストファイル(含 CSV ファイル, 除 Html ファイル)	テキストエディタ	テキストエディタ, ワードプロセッサ, レイアウトなど (CSV ファイルの場合には, データベースソフト, 表計算ソフトなど)
gif	GIF ファイル (Compuserve ビットマップファイル)	ブラウザ	ラスタグラフィック編集ソフト (お絵かきソフト, フォトリタッチソフトなど)
lzh	Lha 圧縮ファイル (解凍後はいろいろな種類のファイルになります)	解凍ソフト	解凍後はそれぞれのファイル形式に応じて
pdf	Acrobat PDF ファイル	Adobe Acrobat Reader 4.0	Adobe Acrobat, Adobe Illustrator
exe	プログラム実行ファイル (Windows 95/98/NT)	N/A	N/A

2. 用語集

原則として、項目内で定義・説明が行われている用語 (ダウンロード, PDF, Lha など) は、この用語集には含まれていません。該当する項目をご覧ください。

Adobe

アドビと読みます。Adobe Systems 株式会社(本社はカリフォルニア州サンノゼ)のことです。Adobe Systems はグラフィックス、パブリッシング、電子ドキュメント配信などに特化しているソフトウェア企業です。ISM 研究会ホームページとの関連では、Acrobat テクノロジーを開発し、Acrobat Reader を提供しているのが Adobe Systems です。

Creator

【この用語は Mac ユーザ以外は知る必要はありません】ファイルを作成した(あるいは作成したものを見なす)アプリケーションソフトを特定するための半角英数¹⁾4文字の識別記号のこと。Finder 情報に含まれています。

Finder 情報

【この用語は Mac ユーザ以外は知る必要はありません】Mac で作成されたファイルに付属する、ファイルに関する情報のこと。

Html

→このドキュメントの「ファイルのダウンロードについて」の「3.1 Html ファイルって?」をご覧ください。

Internet Explorer

→ブラウザの項をご覧ください。

Lha

→このドキュメントの「ファイルのダウンロードについて」の「6.1 Lha ファイルとは?」をご覧ください。

Microsoft

非常に安定した、オリジナリティ溢れる製品と物腰柔らかな態度で有名なアメリカのソフトウェア企業です。このドキュメントに即しては、MS-Dos, Windows 3.1/95/98/NT, Internet Explorer を作っているのが Microsoft です。

Netscape Navigator

→→ブラウザの項をご覧ください。

PC

パーソナルコンピュータ, パソコンのこと²⁾。

PDF

→このドキュメントの「ファイルのダウンロードについて」の「7.1 PDF ファイルとは?」をご覧ください。

Type

【この用語は Mac ユーザ以外は知る必要はありません】このドキュメントでは、ファイルそのものの種類を特定するための半角英数³⁾4文字の識別記号のこと。Finder 情報に含まれています。

URL

Uniform Resource Locator の略語。インターネット上のリソース(例えば Web ページ)がどこにあるのか(住所)を示すするには、いくつかのやり方があります。URL はその中の一つで、最もわれわれ人間が覚えやすいようなやり方です。このドキュメントでは一貫して“Web ページのアドレ

1) 4つのASCIIキャラクタというのを解りやすく平板化した表現です。

2) 技術的な問題に詳しい方への注。PCという用語は、一般には、UNIX WS, Mac, NEC PC-98 に対して、特に PC/AT 互換機のことを指すことがあります。けれども、このドキュメントでは、一貫して、パーソナルコンピュータ全般を PC という用語で括っています。

3) 第27頁の注1をご覧ください。

ス”とか、“ホームページのアドレス”とかと呼んでいるもののことだとお考えください¹⁾。

Vector

インターネット上でソフトウェアの流通を行っているベクター（株）のサイトのことです。このサイトには、多数の無料・有料ソフトがあります。ユーザはこのサイトをつうじてこれらの無料・有料ソフトをダウンロードすることができます。

アクセスキー

→ショートカットキーの項をご覧ください。

管理人

このドキュメントでは、サイトをコンテンツ面から管理する人間のことを指します（このドキュメントでは、一応、ホストのハードウェア、ホストアプリケーションを管理する人間のことを管理者と呼びましたが、あまり気にすることもないでしょう）。要するに、ISM 研究会ホームページについては今井のことです。ISM 研究会は ISM 研究会ホームページの主催者ではありますが、管理人ではありません。

キャプチャ

一般には、なんらかの画像イメージをイメージファイルとして取り込むこと。但し、このドキュメントでは、ディスプレイのスクリーンに現れている²⁾画像をイメージファイルとして取り込むこと（スクリーンキャプチャ）を指します。このドキュメントでは、ブラウザの使い方を説明するために、キャプチャ画像（キャプチャされた画像）を使用しています。

コンテキストメニュー

ちょっと乱暴に言うと、“いまこのソフトで何をやっているのか”（コンテキスト）に応じて変わるメニューのことを指します³⁾。Windows 95/98 では、ソフト上でマウスの右ボタンをクリックすると、コンテキストメニューがマウスのポインタの位置に開き（ポップアップ）します。

サイト

一般的な定義はありませんが、現在の使われ方では⁴⁾、一定のコンセプトのもとにコンテンツ（ユ

1) 技術的な問題に詳しい方への注。もちろん、これは不正確な記述です。URL は住所そのものではなく、住所記載方法ですし、そもそもそれ以前に、URL はスキーム名に http だけではなく、ftp も telnet も mailto さえも指定することができるからです。

2) 技術的な問題に詳しい方への注。もちろん、これは不正確な記述です。別にモニタの電源を切ったところでメモリ内のスクリーンイメージをキャプチャーすることはできます。けれども、「ディスプレイのスクリーンに現れている」と言う方が直感的に解りやすいので、こういう表現にしました。

3) 技術的な問題に詳しい方への注。これは不正確な定義です。例えば、多くのアプリケーションソフトでは、メニューバーのメニューもコンテキスト依存ですが、コンテキストメニューとは言いません。それでは、例えば、コンテキストメニューとは“常に現れているのではなく、ユーザの操作によってポップアップするメニューのことだ”と定義すると、これも現在の使われ方に合致しません。実際にまた、多くのアプリケーションソフトではメニューバーを隠すことができます。それでは、例えば、“マウスの右ボタンをクリックするとポップアップするメニューのことだ”と定義すると、これも現在の使われ方には合致しません。実際にまた、Internet Explorer ではキーボードからの入力でコンテキストメニューをポップアップさせることができます。もちろん、正確な技術的定義も可能なのですが、その定義は普通の方には難しすぎる上に OS 依存になってしまいます。

4) 技術的な問題に詳しい方への注。「一定のコンセプトのもとに」と言うのは、単一の主催者が複数のサイトをもつことがあるからです。「管理権限が及ぶ」と言うのは、一つのサイトが複数のホストにまたがっている場合もあるからです（ISM 研究会のサイトも複数のホストにまたがっています）。なお、「管理権限」と言うのはもちろんコンテンツに関する管理権限のことを指しています。

それでは、上記の定義が現在の“サイト”の使用法を十分に包括しているかと言うと、そんなことはなく、

ーザにとって意味のあるもの)を公開する主催者・管理人の管理権限が及ぶ論理的な範囲のことを指していると思います。“ISM 研究会のサイト”と言う時には、それは“ISM 研究会が ISM 研究会用のものとして管理しているインターネット上の場所のこと”というくらいに考えてください。

サーバ

このドキュメントでは、WWW サーバ (Web サーバ) のこと。例えば、ISM 研究会のホームページは WWW サーバ 1 においてあり、みなさんの端末は WWW サーバ 2 に繋がっていると仮定します。みなさんが ISM 研究会のホームページをご覧になるということは、みなさんの端末から WWW サーバ 2 に“これ見たい”という要求を出し、WWW サーバ 2 が WWW サーバ 1 に“俺の顧客 (クライアント) がこれ見たいって言ってるんで、これを送ってくんないかな”という要求を出しているわけです¹⁾。なお、上の例での WWW サーバ 2 は、通常は、みなさんのご家庭とか研究室とかにあるのではなく、みなさんが契約している接続業者 (プロバイダ)、みなさんの大学の情報処理センターなどにあります。

ショートカットキー

このドキュメントでは、Web ページを閲覧する際に、キーボード上で入力することができ、マウスの代わりに使用することができる特定のキーのことを意味します。ISM 研究会ホームページの場合には、ショートカットキーと、あるキー (Windows の場合には [Alt] あるいは [Graph], Mac の場合には [Command]) とを同時に押すと、マウスを使わなくても、マウスを使うのと同じような操作を実現することができます。

スタイルシート

皆さんが Web ページを目で閲覧する時に、あの文字は大きかったり、あの画像は真ん中に来ていたりします。このように Html ファイルが皆さんの前でプレゼンテーションされる (例えばブラウザで閲覧される) 際のレイアウトをデザインする“やり方”の一つにスタイルシート言語というものがあります。ここでは、この“やり方”で書かれた部分——それは Html ファイルの中にある場合も Html ファイルとは別のファイルとしてある場合もあります——のことをスタイルシートと呼んでいます²⁾。

端末

あまり厳密ではありませんが、解りやすく言うと、あなたがインターネットにアクセス際に実際

ミラーサイトなんて言う場合には、同じ主催者の同じコンセプトのもとにサイトが 2 つあることになってしまいます。つまりは、管理人がサイトとして認識し、ユーザーがサイトとして受容している論理的範囲がサイトの範囲だというのが現在の使用法に最もマッチしているのでしょう。

なお、以上の定義から明らかであるように、サイトには Web サイトだけではなく FTP サイトなども含まれています。但し、このドキュメントでは、“サイト”と言う時には、殆ど専らそれは Web サイトのことだけを意味しています。

- 1) 技術的な問題に詳しい方への注。このドキュメントでは、一貫して、物理的な単位をイメージさせる文脈で“サーバ”という用語を使用しています。もちろん、同じ物理的単位のコンピュータが WWW サーバになったり SMTP サーバになったり POP3 サーバになったりするわけですから、つまりインターネットにおけるサーバとはあくまでもシステムの単位 (クライアントプログラムに対するサーバプログラム) ですから、あまりこういう文脈での使用は適切でないのかもしれませんが、けれども、今日、一般に“サーバ”という用語が用いられる時——例えば“俺んとこのサーバは容量が少なくてさあ”と言う時——には、物理的な単位がイメージされていると思います。
- 2) なお、スタイルシート言語がプレゼンテーションの仕方を定めることができるのは Html ファイルではありません。また、スタイルシートで指定することができるのは視覚的なプレゼンテーションの仕方だけではありません。更に、スタイルシート言語にはいろんなものがあり得るのですが、ISM 研究会のホームページで採用されているのは CSS (Cascading Style Sheet) というスタイルシート言語です。

に触っている情報処理機器のことです。PC、ワープロ専用機、携帯電話、TV などいろいろなものがあります。

ニフティ

ニフティ（株）のことです。ニフティは一般第二種電気通信事業を主業務とする通信サービス企業です。ISM 研究会との関連では、ISM メーリングリストはニフティ株式会社のサーバを通じて配布されています。

パスワードロック

ロックとは鍵のことです。つまり、パスワードロックとはパスワードで鍵をかけることです。このドキュメントでは特に、パスワードロックとは、パスワードで鍵をかけて、ISM 研究会の会員以外には ISM 研究会のホームページのコンテンツ（内容）を見せないようにすることです。

バナー

あるサイト（サイト A）の管理人が別のサイト（サイト B）の Web ページへのリンクをする際に使うことができるよう、リンク用の画像としてサイト B の管理人が用意した画像のこと。

ブラウザ

端末で Web ページを見る（聞く）ためのソフトのことです。みなさんが Web ページを見る時には、ブラウザを使っています。世の中にはいろいろなブラウザがありますが、現在では、Internet Explorer と Netscape Navigator とが主流です。

ページ、ホームページ、Web ページ

現在の使われ方では、ページ、ホームページ、Web ページは、一般にほとんど同じ意味に用いられており、このドキュメントでも同じ意味に用いられています。つまり、ユーザにインターネット上のリソース（資源）へのアクセスを提供する窓口のことです。ユーザはブラウザを通じてページ、ホームページ、Web ページを見ることができます²⁾。乱暴に言うと、みなさんがインターネットにアクセスしてブラウザで見ているのが Web ページだということです。いずれにせよ、Web ページはファイルのような物理的な概念ではなく、ユーザのブラウザの内に現れているものを指



-
- 1) 技術的な問題に詳しい方への注。もともとは視覚的なプレゼンテーションに対応して視覚的に Html 文書を閲覧するためのソフトがブラウザだったのではないかと思います。けれども、現在では聴覚的に Html 文書を“閲覧”するためのソフトも音声ブラウザなどと呼ばれています。但し、サーチエンジンのロボットソフトなんかは、Html 文書を解析するユーザ・エージェントソフトですが、ブラウザとは呼ばれません。あくまでも、単なる解析ではなく、エンドユーザによる閲覧（ブラウジング——但し視覚的な閲覧だけではない）をサポートするのがブラウザなのでしょう。
 - 2) 技術的な問題に詳しい方への注。但し、これは非常に曖昧な定義です。例えば、(i) ハイパーリンクに着目すると、ハイパーリンクを提供している PDF ファイルは Web ページなのかどうか、もしそれが Web ページであるならば、そもそも——ハイパーリンクについてクリッカブルなインターフェイスを提供しているアプリケーションソフトであれば——メーラもワープロ表計算ソフトも総てブラウザだということになってしまい、従ってそれらのアプリケーションソフトに対応するデータ形式は——インターネット上のアドレスが記入されていさえすれば——総て Web ページの実体をなすということになってしまいます。しかし、普通はワープロソフトでワープロ文書を見ても Web ページをブラウズしたとは言わないでしょう。(ii) ブラウザで閲覧することができるということに着目すると、GIF ファイルも JPEG ファイルも Web ページの実体をなすということになってしまいます。しかし、普通はブラウザで表示されている GIF ファイルのことを Web ページとは呼ばないでしょう。(iii) その実体をなす Html ファイルに着目すると、そもそもなんのリンクをも含んでいない——しかも一度もインターネットで公開されたことがない——ような Html ファイルも Web ページの実体をなすということになってしまいます。しかし、普通はリンクが全くない Html ファイルをブラウザで閲覧しても Web ページを閲覧しているという実感はないでしょう。あるいはまた、ローカルディスクにある（つまり Web から切り離された）Html ファイルをオフラインで（やはり Web から切り離されて）ブラウザで見ても、Web ページをブラウズしたことはないでしょう。

すユーザ向けの概念だということになります¹⁾。但し，“ISM 研究会ホームページ”と言う時には、そこで述べられている“ホームページ”とは実際には“サイト”という意味です。つまり、ISM 研究会が提供しているインターネット上のリソース（資源）の全体を意味する物理的な概念です。

ボタン

この文書で「ボタン」という用語を使う時には、二つの使い方がありますので、文脈に応じて区別してください。第一の用語法では、「ボタン」はマウスのボタンです。これはマウスに付いています。これは物理的なボタンであって、みなさんが指でクリックするべきものです。第二の用語法では、「ボタン」はリンクボタンです。これはブラウザで Web ページを閲覧する時に、Web ページ上に表示されます。メニューボタン、フッターボタンもリンクボタンの一種です。詳しくは「最初にご覧ください」の「3. メニュー付き Web ページのルック・アンド・フィール」をご覧ください。

マウスのポインタ

マウスを動かしてみましよう。すると、マウスの動きに合わせて、矢印——つまり  (Windows 98 の例) ——とか、キャレット——つまり  (Windows 98 の例) ——とかが動くはずですが、これがマウスのポインタです。なお、マウスのポインタがキャレットの状態にある時にはテキストを選択することができます。

メインページ

「ISM 研究会ホームページの使い方」の「1.1.1 メインページ」をご覧ください。

メーラ

インターネットメールをあなたの端末で送受信し、管理するためのソフトのことです。主なものに Outlook Express, Netscape Messenger, Eudora Pro などがあります。

1) 技術的な問題に詳しい方への注。Web ページは UI (ユーザインターフェース) 上の用語だと思います。テキストエディタでソースファイルを見ても、それは Web ページを見ていることにはなりません。

しかも、——Web ページの実体は物理的なファイルであるのにも拘わらず——、Web ページはファイルに一对一で対応しているわけではありません。例えば、ユーザが通常に“Web ページ”(単数)として意識しているものには画像ファイルとか、音声ファイルとかが含まれています。もちろんそれらを統括するのは Html ファイルなのですが、しかし Web ページは Html ファイルにさえ一对一で対応していません。例えば、“このページはフレーム付きです”と言う時には、“ページ”は単数形です。フレーム付きのページは 2 つ以上の Html ファイルで構成されているのにも拘わらず、ユーザはそれを 1 つのページとして意識しています。もう、こうなると、“ユーザが Web ページとして意識するものが Web ページなのだ”としか言いようがないように思われます。